



平成30年7月9日  
九州地方整備局  
16時00分

### 平成30年7月豪雨における出水について（第1報）

【遠賀川水系、筑後川水系、松浦川水系、六角川水系、  
嘉瀬川水系、山国川水系、菊池川水系、球磨川水系】

○九州内20の一級水系のうち、8水系で氾濫危険水位を超過し、遠賀川、筑後川両水系では9つの水位観測所で観測史上最高水位を観測しました。

○河岸決壊に伴う護岸の崩落が生じた松浦川水系徳須恵川について、7月6日より緊急復旧工事に着手しました。

平成30年7月豪雨における出水により、氾濫危険水位を超過した遠賀川水系、筑後川水系、松浦川水系、六角川水系、嘉瀬川水系、山国川水系、菊池川水系、球磨川水系の雨量や水位の情報、被害の状況等についてとりまとめました。

今回の出水では、九州内20の一級水系のうち、8水系で氾濫危険水位を超過し、遠賀川、筑後川両水系では9つの水位観測所で観測史上最高水位を観測しました。

また、河岸決壊に伴う護岸の崩落が生じた松浦川水系徳須恵川について、7月6日より緊急復旧工事に着手しました。

今回の豪雨被害からの早期復旧に向け、引き続き全力で取り組んで参ります。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長

こばやし ゆう  
小林 侑

電話：092-471-6331(代表)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

## 平成 30 年 7 月豪雨における出水の概要と対応(第 1 報)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

### 1. 出水状況

遠賀川、筑後川、松浦川、六角川、嘉瀬川、山国川、菊池川、球磨川の 8 水系で、氾濫危険水位を超過。うち、遠賀川水系、筑後川水系では、9 観測所において観測史上最高水位を観測。

#### ○ 氾濫危険水位超過 20 河川 26 地点

- 遠賀川水系 : 遠賀川(川島、日の出橋、中間)、中元寺川(春日橋)、  
穂波川(秋松橋)、笹尾川(野面)、八木山川(生見)、  
金辺川(夏吉)
- 筑後川水系 : 筑後川(片ノ瀬、荒瀬、小湊、杖立)、宝満川(端間)、  
巨瀬川(中央橋)、小石原川(栄田橋)
- 松浦川水系 : 巖木川(中島橋)、徳須恵川(徳須恵橋)
- 六角川水系 : 六角川(潮見橋)、牛津川(妙見橋)
- 嘉瀬川水系 : 嘉瀬川(川上)
- 山国川水系 : 山国川(柿坂)
- 菊池川水系 : 菊池川(玉名)、繁根木川(岩崎)、岩野川(城)
- 球磨川水系 : 球磨川(人吉、渡)

※           の地点は、観測史上最高水位を観測。

### 2. ホットラインの実施

#### 1. の 8 水系に関して 129 回のホットラインを実施。

遠賀川水系 39 回、筑後川水系 24 回、矢部川水系 4 回、松浦川水系 14 回、  
六角川水系 25 回、嘉瀬川水系 11 回※、菊池川水系 9 回、球磨川水系 3 回  
※佐賀導水に係るホットライン 6 回を含む

【ホットライン】河川事務所長から市町村長に対して河川の情報を直接提供する仕組み

### 3. 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

7水系で計13回の洪水情報のプッシュ型配信を実施。

- 遠賀川水系 : 遠賀川(日の出橋、川島、中間)
- 筑後川水系 : 筑後川(片ノ瀬、荒瀬)
- 六角川水系 : 六角川(潮見橋)、牛津川(妙見橋)
- 松浦川水系 : 厳木川(中島橋)、徳須恵川(徳須恵橋)
- 山国川水系 : 山国川(柿坂)
- 菊池川水系 : 菊池川(玉名)
- 球磨川水系 : 球磨川(人吉、渡)

【洪水情報】指定河川洪水予報の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報  
【プッシュ型配信】受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組み

### 4. 主な施設被害

<国管理区間>

- 松浦川水系徳須恵川 河岸決壊に伴う護岸の崩落  
(位置 6/830~6k940 左岸、延長約 110m)  
→緊急復旧工事中

<県管理区間>

- 筑後川水系大刀洗川(福岡県管理区間) 堤防決壊  
(位置 9k/200 付近左岸、延長22m)  
→緊急復旧工事中

### 5. 主な一般被害

筑後川水系の<sup>くるめ</sup>久留米市、遠賀川水系の<sup>いづか</sup>飯塚市等において、支川氾濫等の内水により浸水被害が発生(解消済み)。

- 筑後川水系 久留米市 1,575 棟(床上 202、床下 1,373)
- 遠賀川水系 飯塚市 424 棟(床上 242、床下 182)
- こたけ  
小竹町 55 棟(床上 13、床下 42)
- のおがた  
直方市 64 棟(床上 23、床下 41)

※ 出典 福岡県公表資料「7月5日からの大雨に関する情報(第16報)」

# 平成30年7月豪雨における出水について (第1報)

(遠賀川水系、筑後川水系、松浦川水系、六角川水系、  
嘉瀬川水系、山国川水系、菊池川水系、球磨川水系)

九州地方整備局  
平成30年7月9日

# 目 次

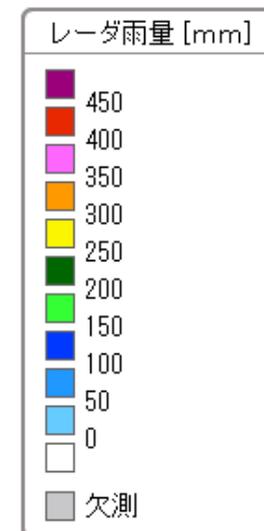
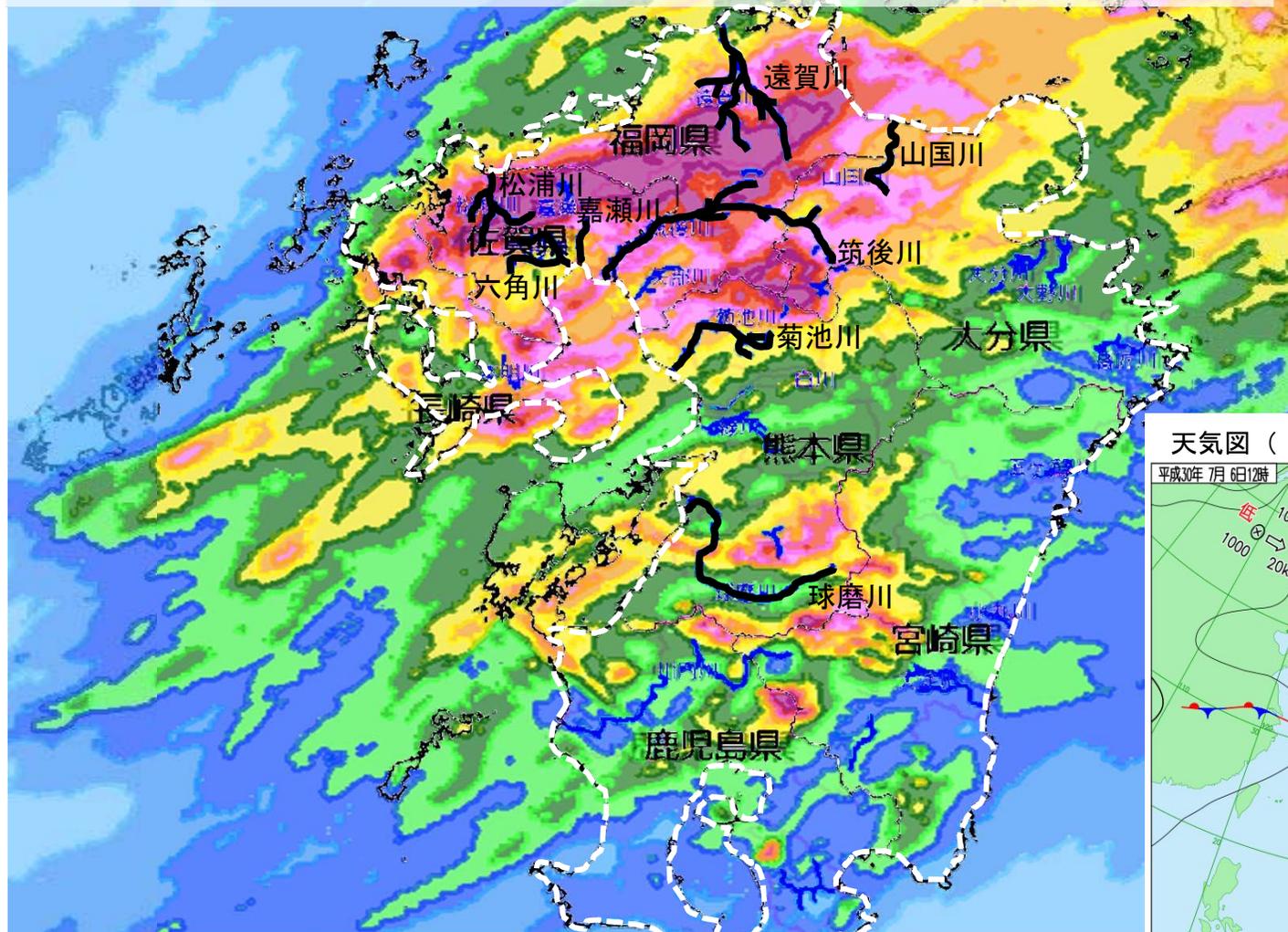
1. 気象・降雨の概要	1～
2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況	2～
3. 降雨の概要	3～
4. 水位の概要	11～
5. 出水状況写真	30～
6. 被害箇所位置及び復旧工事の状況	34～

# 1. 気象・降雨の概要

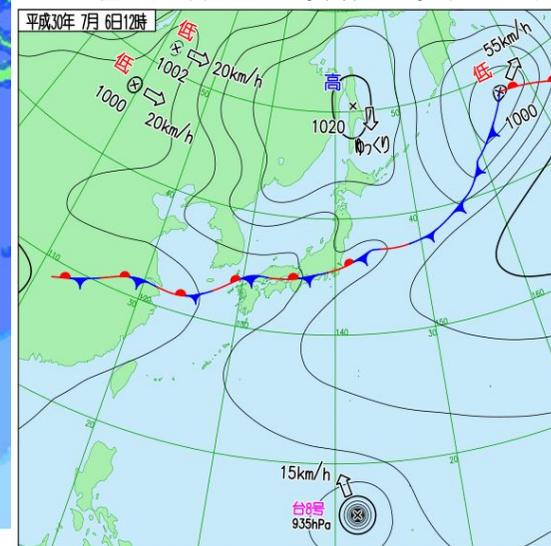
○7月5日（木）から7日（土）にかけて、梅雨前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、**多くの雨量観測所で観測史上最多の日雨量を観測する記録的な大雨**となりました。

7/5 6:00~7/7 12:00累積レーダ雨量

（統一河川情報システムより作成した図を加工し、氾濫危険水位を超過した水系を黒色標記）



天気図（7月6日12時頃、気象庁HPより）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況

○広範囲にわたる大雨の結果、九州内20の一級水系のうち、8水系で氾濫危険水位を超過し、遠賀川、筑後川両水系では9つの水位観測所で既往最高水位を観測。

【平成30年7月8日22時現在】

### 1. 河川出水状況（直轄河川）

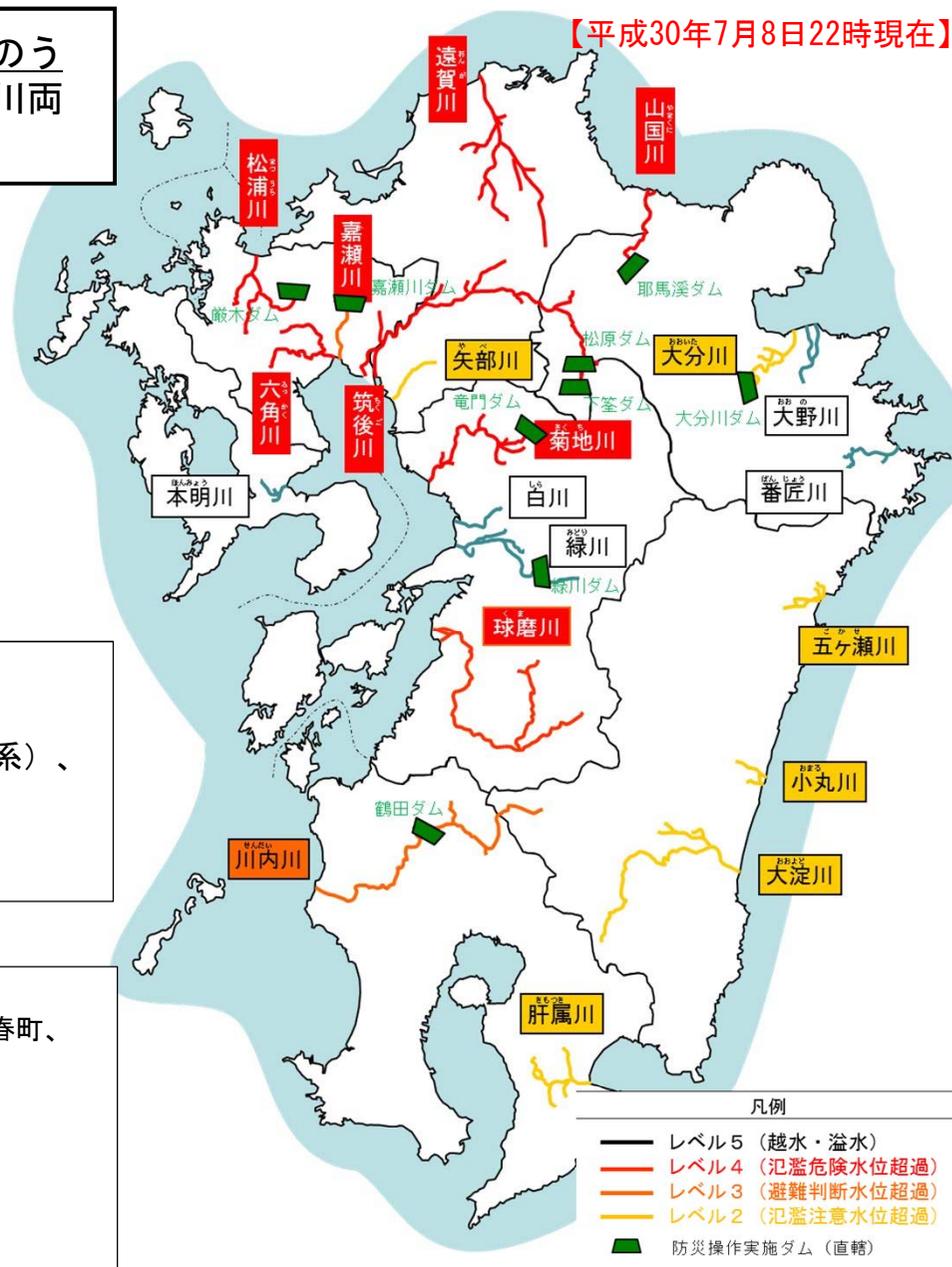
- レベル4（氾濫危険水位超過）＜8河川＞
    - ・遠賀川、筑後川、山国川、松浦川、六角川、嘉瀬川、菊池川、球磨川
  - レベル3（避難判断水位超過）＜1河川＞
    - ・川内川
  - レベル2（氾濫注意水位超過）＜6河川＞
    - ・大分川、矢部川、大淀川、小丸川、五ヶ瀬川、肝属川
- ※現在水位は水防団待機水位以下まで降下

### 2. 直轄ダム洪水調節状況（直轄河川）

- 直轄9ダムで防災操作を実施  
 厳木ダム（松浦川水系）、嘉瀬川ダム（嘉瀬川水系）、  
 下笠ダム・松原ダム（筑後川水系）、耶馬溪ダム（山国川水系）、  
 竜門ダム（菊池川水系）、緑川ダム（緑川水系）、  
 鶴田ダム（川内川水系）、大分川ダム※（大分川水系）  
 ※試験湛水中であったが貯留による洪水処理を実施

### 3. 避難指示等の状況

- 福岡県5市、4町、1村で避難指示  
 久留米市、飯塚市、田川市、小郡市、嘉麻市、大刀洗町、広川町、香春町、  
 赤村、福智町
  - 佐賀県2市、1町で避難指示  
 唐津市、武雄市、吉野ヶ里町
  - 熊本県1市、2村で避難指示  
 玉名市、相良村、五木村
  - 大分県1市で避難指示  
 中津市
- 避難勧告は23市、23町、5村で発令

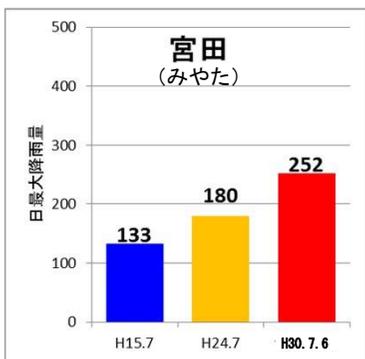


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

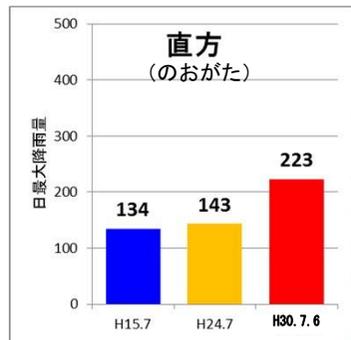
# 3. 降雨の概要（遠賀川流域の雨量）

遠賀川流域では、近年の主な出水時（H15、H24）の降雨と比較して、流域内の多くの雨量観測所で、観測史上最多日雨量を観測しました。

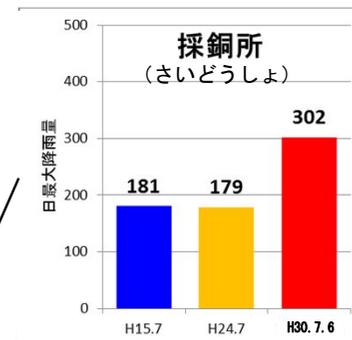
## ■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



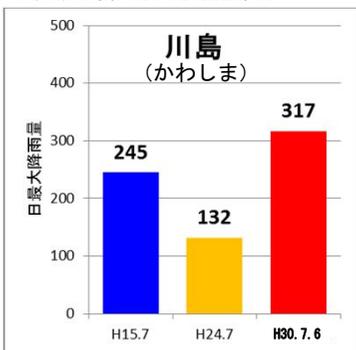
※観測史上最多: H21.7.24 (282mm/日)



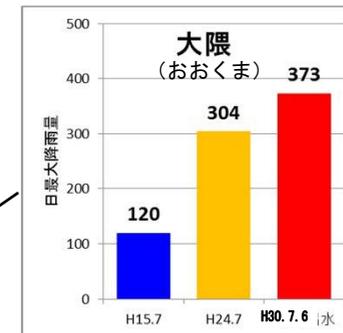
※観測史上最多: S30.4.15 (272mm/日)



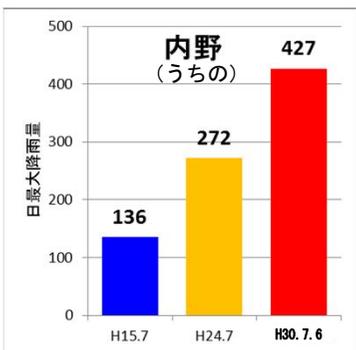
※これまでの観測史上最多: H7.7.2 (290mm/日)



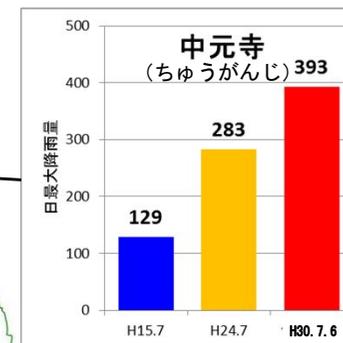
※これまでの観測史上最多: H21.7.24 (256mm/日)



※これまでの観測史上最多: H24.7.14 (304mm/日)



※これまでの観測史上最多: H7.7.2 (300mm/日)



※これまでの観測史上最多: H24.7.14 (283mm/日)

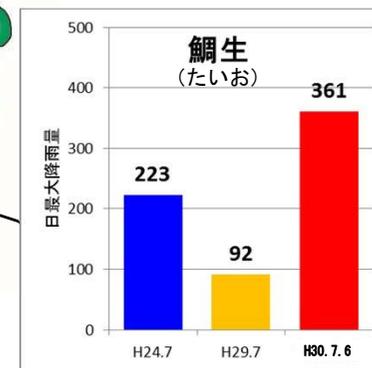
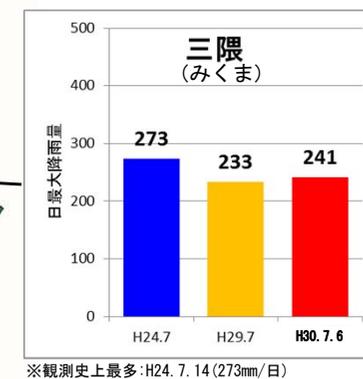
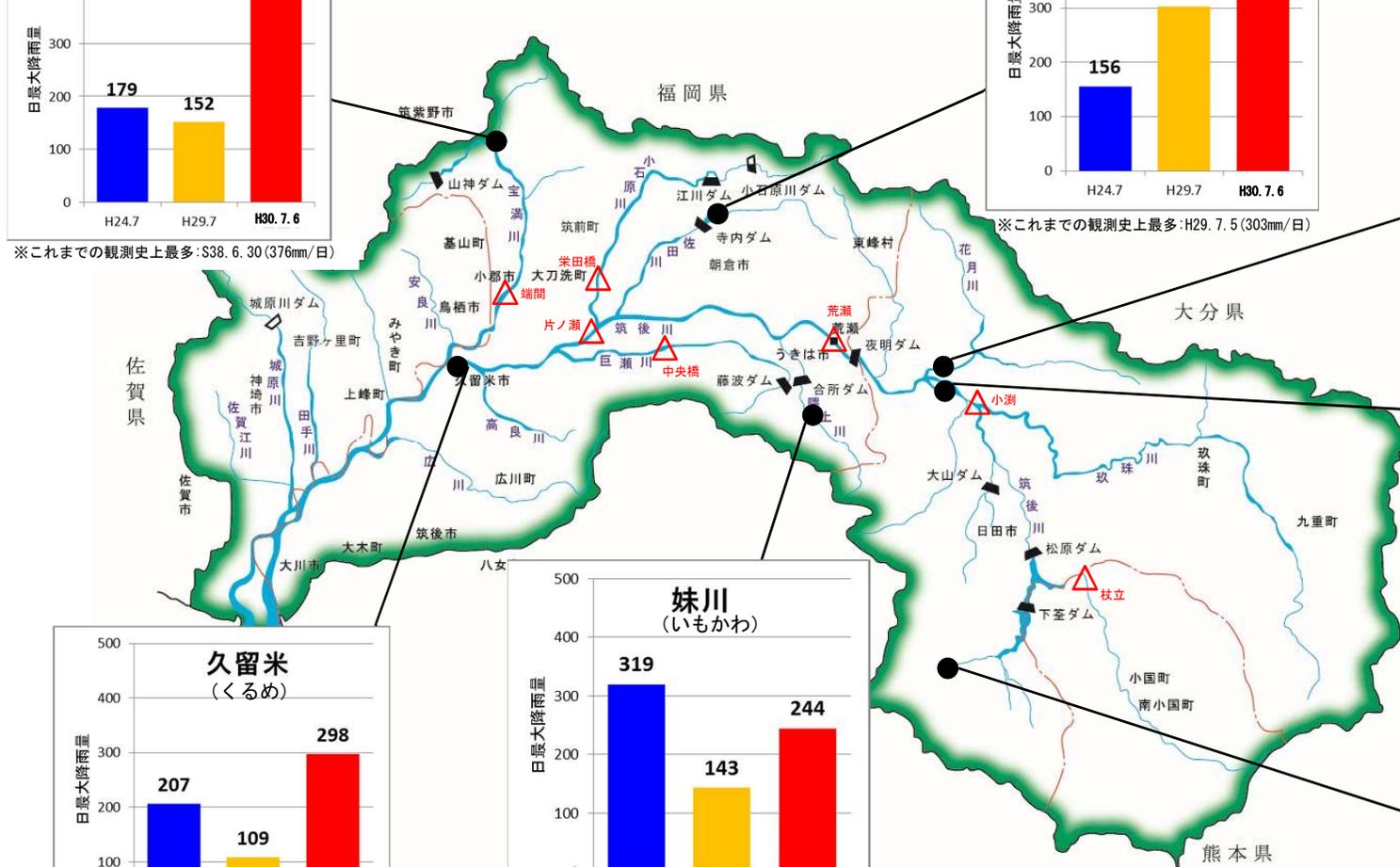
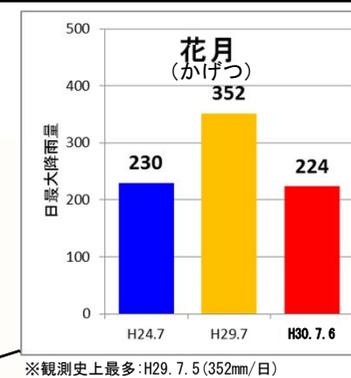
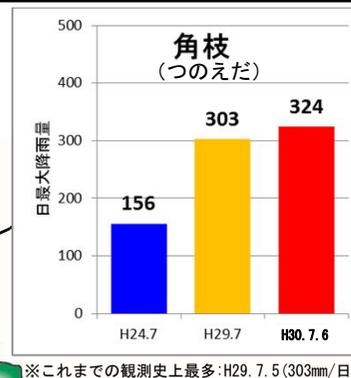
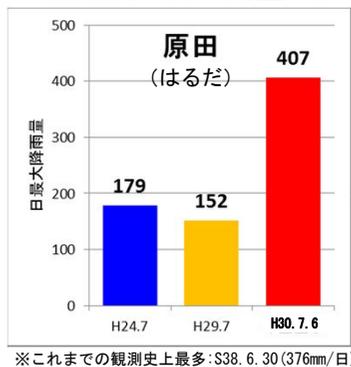
△ 氾濫危険水位を超過した観測所

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

### 3. 降雨の概要（筑後川流域の雨量）

筑後川流域では、近年の主な出水時（H24、H29）の降雨と比較して、久留米(くるめ)雨量観測所や原田(はるだ)雨量観測所などで、観測史上最多日雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



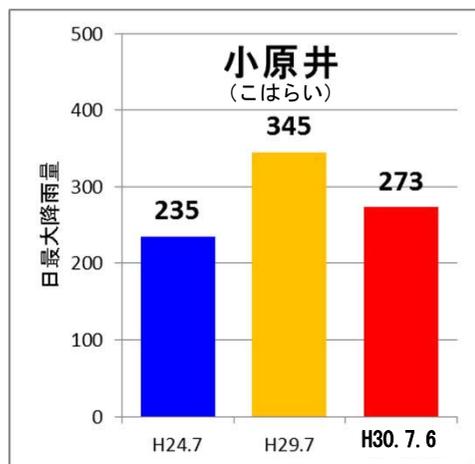
△ 氾濫危険水位を超過した観測所

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

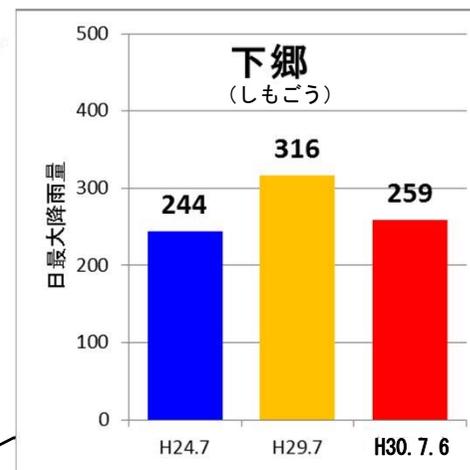
### 3. 降雨の概要（山国川流域の雨量）

山国川流域では、近年の主な出水時（H24、H29）の降雨と比較して、古後（ここ）雨量観測所において観測史上最多日雨量を観測しました。

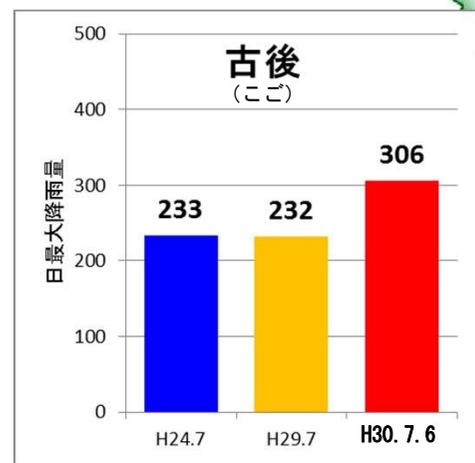
■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



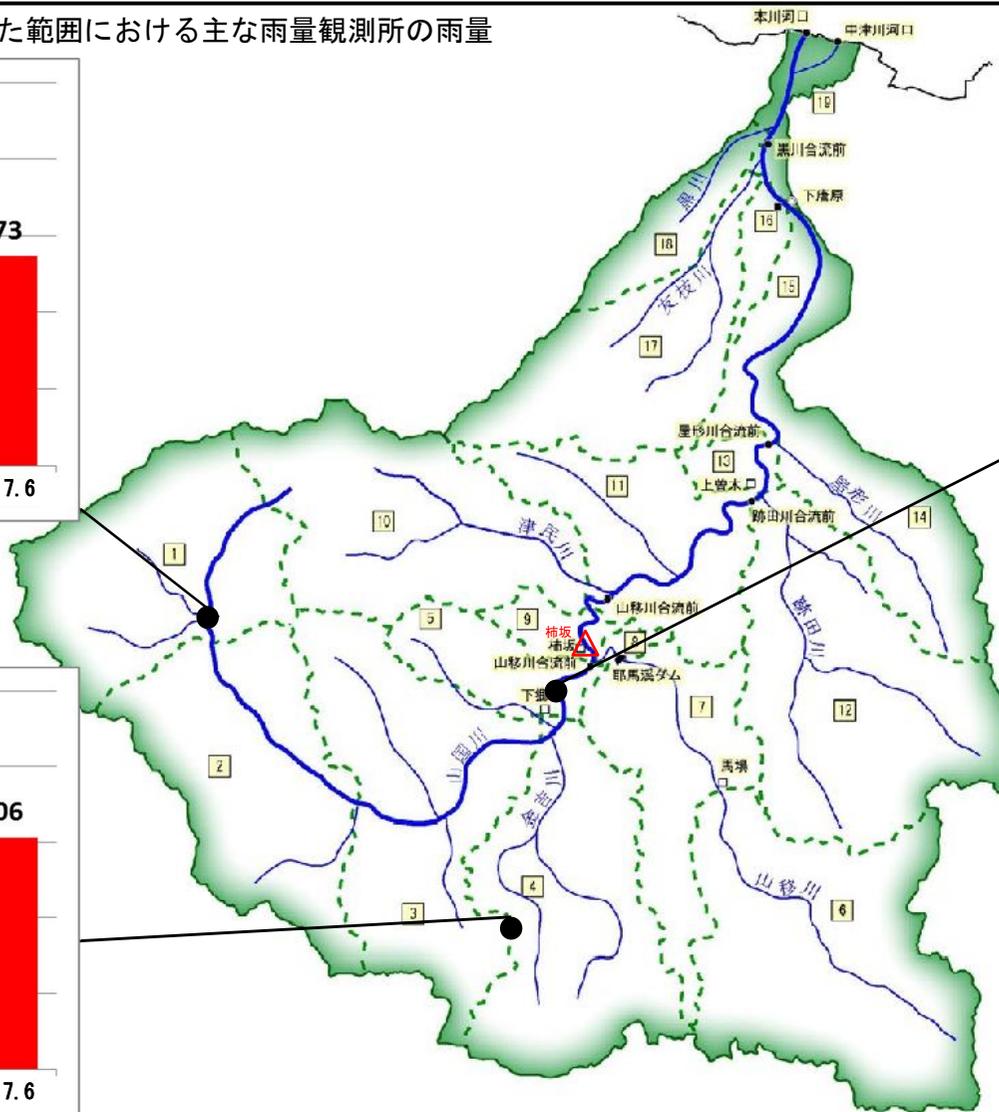
※観測史上最多: H29.7.5 (345mm/日)



※観測史上最多: H29.7.5 (316mm/日)



※これまでの観測史上最多: H24.7.14 (233mm/日)



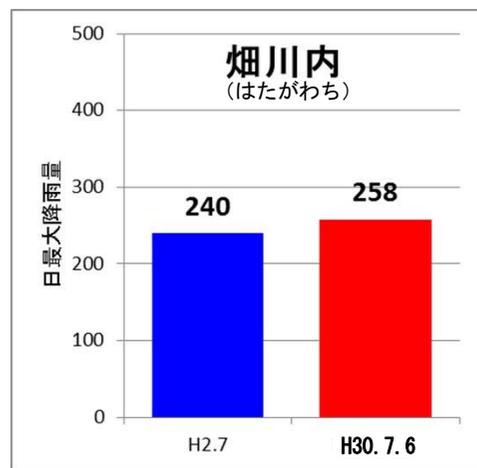
△ 氾濫危険水位を超過した観測所

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

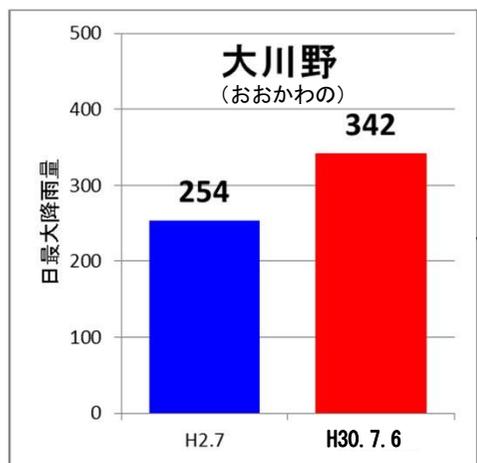
### 3. 降雨の概要（松浦川流域の雨量）

松浦川流域では、近年の主な出水時（H2）の降雨と比較して、厳木ダム(きゅうらぎだむ)雨量観測所において観測史上最多日雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



※観測史上最多: H14.9.16 (338mm/日)

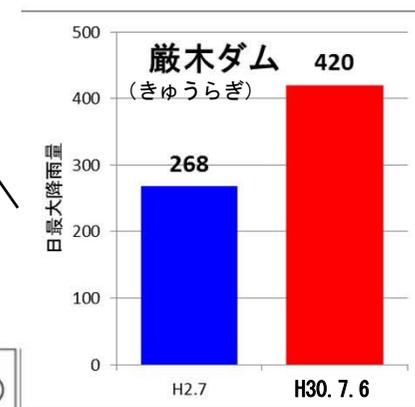


※観測史上最多: H18.9.16 (349mm/日)



△ 氾濫危険水位を超過した観測所

大臣管理区間(延長63.3km)



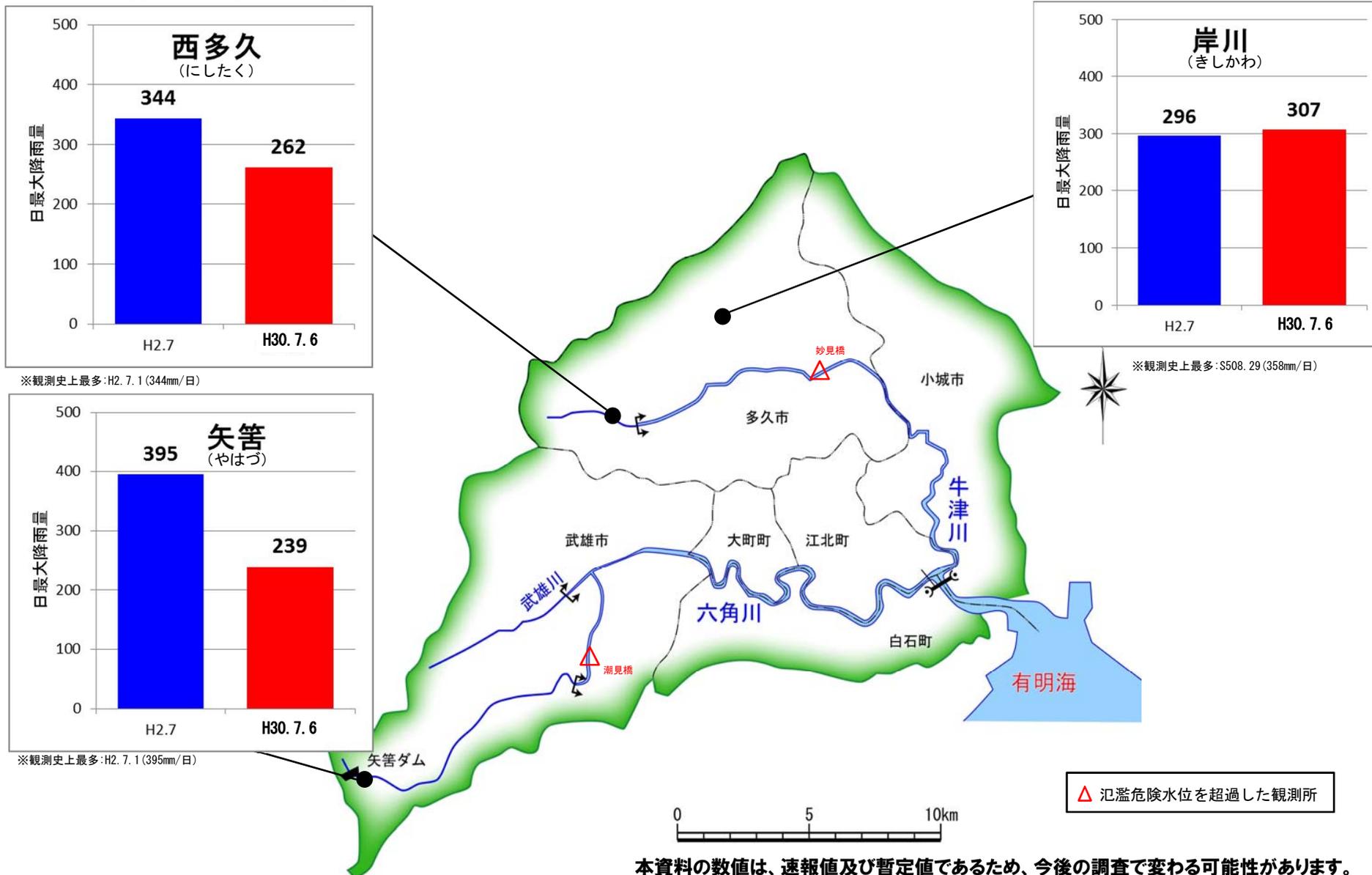
※これまでの観測史上最多: H13.6.19 (281mm/日)

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

### 3. 降雨の概要（六角川流域の雨量）

六角川流域では、岸川(きしかわ)雨量観測所において、近年の主な出水（H2）を超える雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量

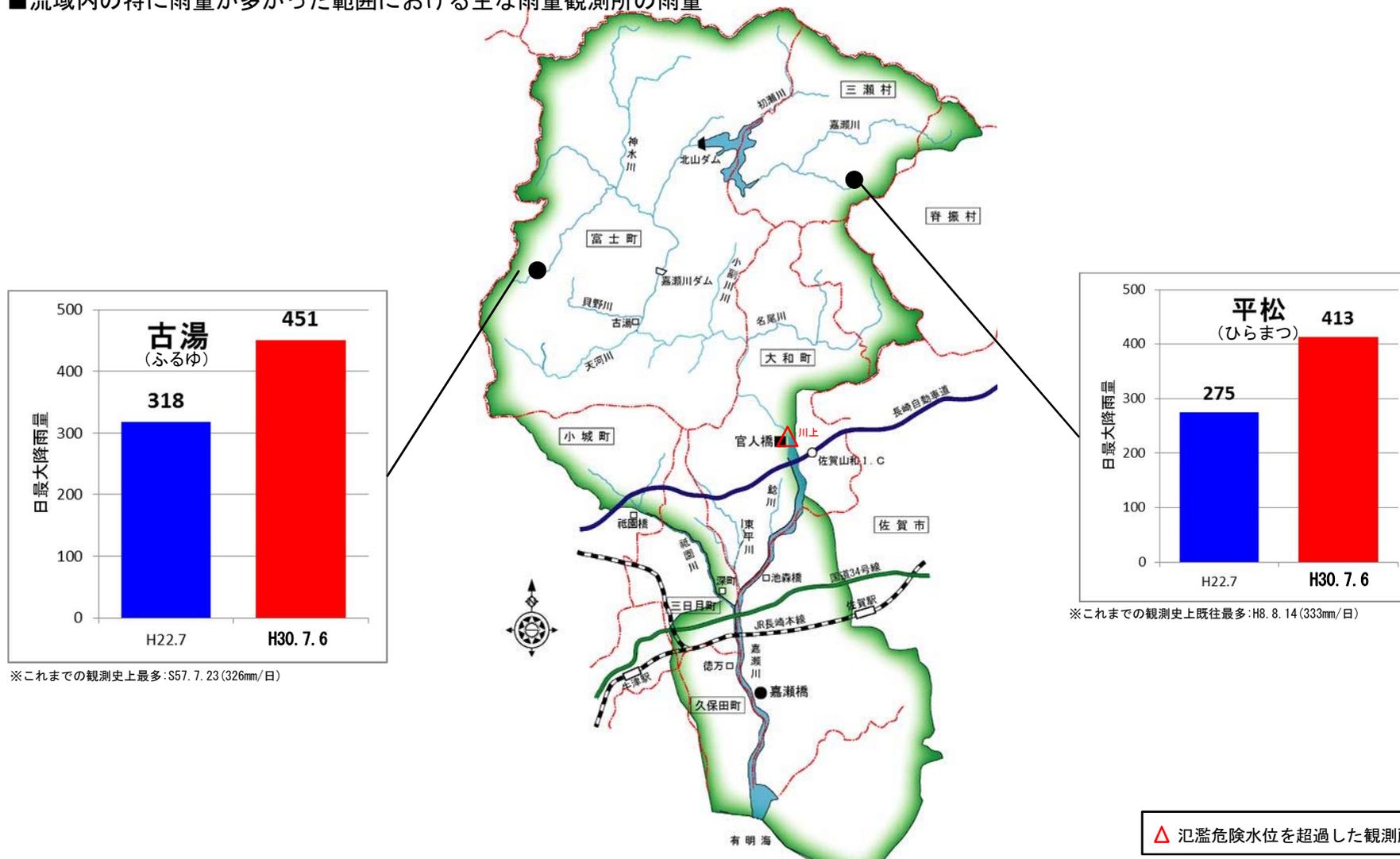


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

### 3. 降雨の概要（嘉瀬川流域の雨量）

嘉瀬川流域では、近年の主な出水時（H22）の降雨と比較して、古湯（ふるゆ）雨量観測所や平松（ひらまつ）雨量観測所において観測史上最多日雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量

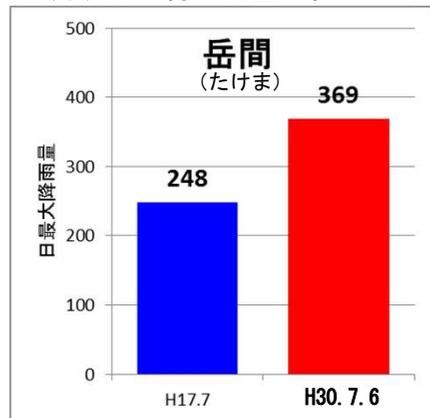


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

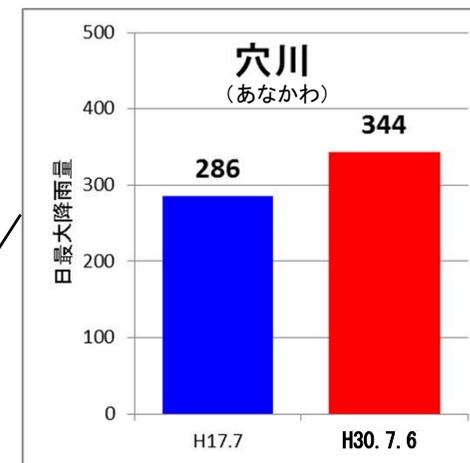
### 3. 降雨の概要（菊池川流域の雨量）

菊池川流域では、近年の主な出水時（H17）の降雨と比較して、岳間(たけま)雨量観測所において観測史上最多日雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



※これまでの観測史上最多：H28.6.22 (323mm/日)



※観測史上最多：H11.6.24 (394mm/日)



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

### 3. 降雨の概要（球磨川流域の雨量）

球磨川流域では、過去に水害が発生した出水時(S57,H17)の降雨量には及ばなかったものの、人吉水位観測所と渡水位観測所で氾濫危険水位を超過しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 4. 水位の全体概要

梅雨前線の活発な活動により、九州の8水系（遠賀川、筑後川、松浦川、六角川、嘉瀬川、山国川、菊池川、球磨川）において氾濫危険水位を超える洪水が発生し、9観測所において観測史上最高水位を観測しました。

【氾濫危険水位を超過した水位観測所一覧】



水系名	河川名	観測所名	今回最高水位(m)	観測史上最高水位
遠賀川	遠賀川	川島(かわしま)	6.16	5.88(H15.7.19)※2
遠賀川	遠賀川	日の出橋(ひのでばし)	8.63	8.06(H22.7.14)※2
遠賀川	遠賀川	中間(なかま)	5.52	5.37(S28.6.26)※2
遠賀川	中元寺川	春日橋(かすがばし)	4.26	4.97(H24.7.14)
遠賀川	穂波川	秋松橋(あきまつばし)	5.79	6.84(H15.7.19)
遠賀川	笹尾川	野面(のぶ)	3.13	3.00(H21.7.24)※2
遠賀川	八木山川	生見(ぬくみ)	3.23	3.10(S62.7.19)※2
遠賀川	金辺川	夏吉(なつよし)	4.57	4.79(H15.7.19)
筑後川	筑後川	片ノ瀬(かたのせ)	9.36	10.3(H29.7.5)
筑後川	筑後川	荒瀬(あらせ)	6.9	7.35(H24.7.14)
筑後川	筑後川	小瀬(こぶち)	4.61	4.60(S38.8.17)
筑後川	筑後川	杖立(つえたて)	7.33	9.36(H2.7.2)※2
筑後川	宝満川	端間(はたま)	5.47	4.67(S47.7.10)※2
筑後川	巨瀬川	中央橋(ちゅうおうばし)	3.14	2.93(H24.7.14)※2
筑後川	小石原川	栄田橋(さかえだばし)	4.40	3.79(H22.7.14)※2
松浦川	厳木川	中島橋(なかしまばし)	2.71	4.05(S57.7.24)
松浦川	徳須恵川	徳須恵橋(とくすえばし)	5.73	6.62(S47.7.12)
六角川	六角川	潮見橋(しおみばし)	4.40	5.31(S54.6.29)
六角川	牛津川	妙見橋(みょうけんばし)	5.47	6.04(H2.7.2)
嘉瀬川	嘉瀬川	川上(かわかみ)	5.73	6.01(H22.7.14)
山国川	山国川	柿坂(かきさか)	5.81	6.89(H29.7.5)
菊池川	菊池川	玉名(たまな)	5.99	6.85(H2.7.2)
菊池川	繁根木川	岩崎(いわさき)	1.87	2.62(S47.7.12)
菊池川	岩野川	城(じょう)	5.02	5.51(H17.7.10)
球磨川	球磨川	人吉(ひとよし)	3.50	4.60(S57.7.25)
球磨川	球磨川	渡(わたり)	8.75	11.0(S57.7.25)

※1 赤字は今回の降雨によりこれまでの観測史上最高水位を超過したもの  
 ※2 これまでの観測史上最高水位

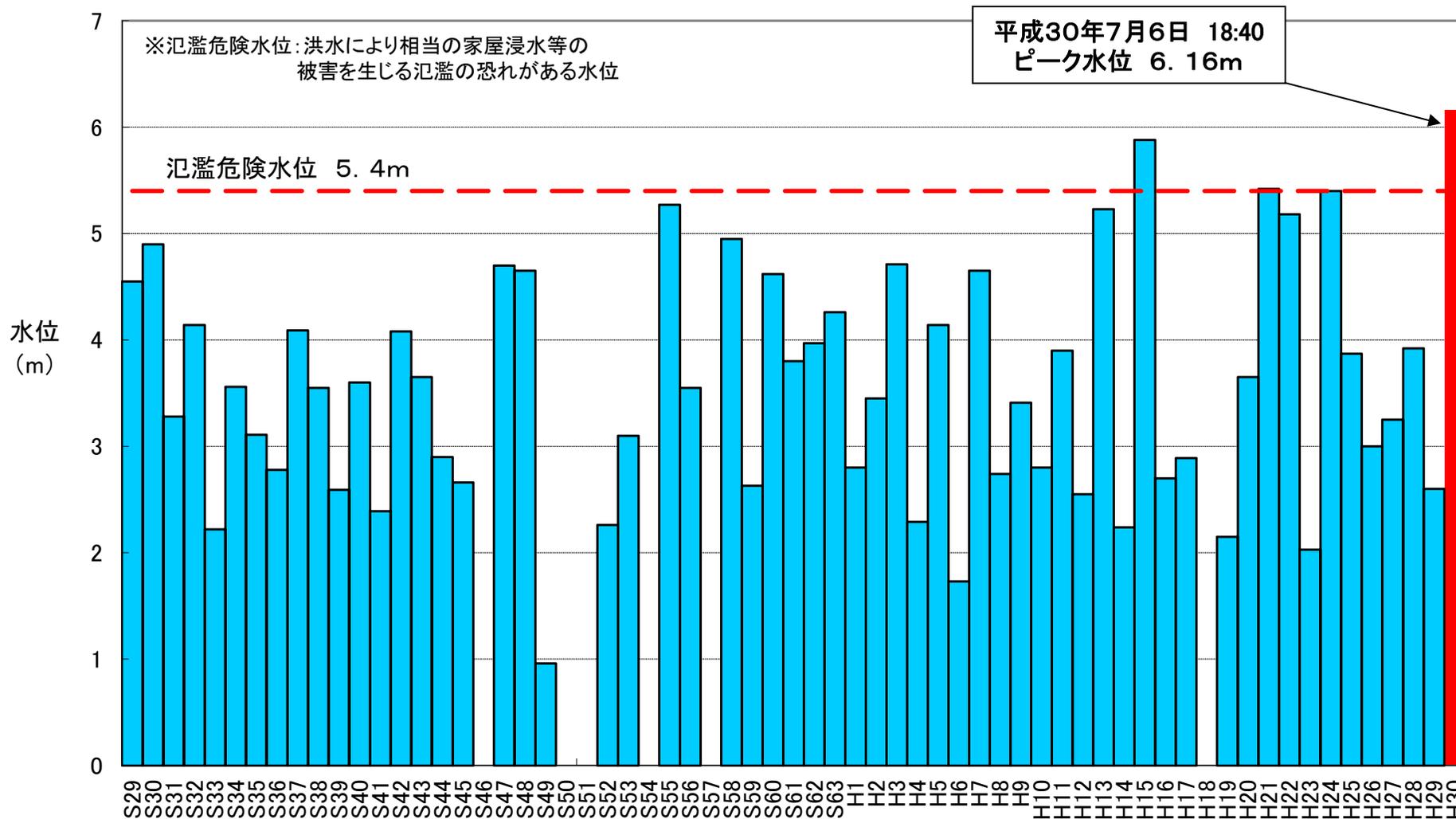
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 4. 水位の概要①-1 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川の川島(かわしま)水位観測所において、7月6日18時40分に観測史上第1位の水位となる6.16mを記録しました。

遠賀川(川島水位観測所)における年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

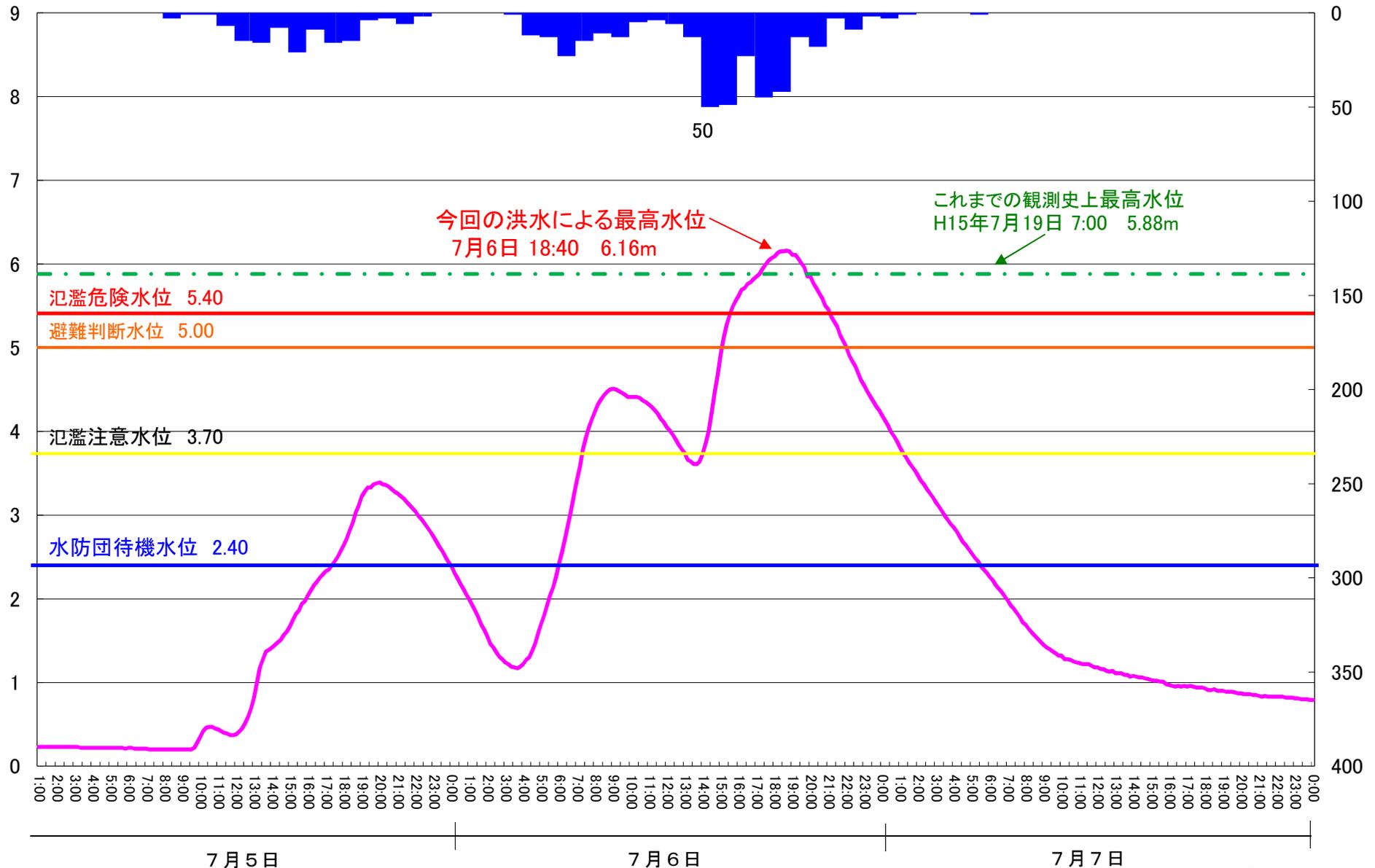


※川島水位観測所 所在地:遠賀川 30.5km地点(福岡県飯塚市幸袋) 零点高:T.P. 10.7m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要①-2 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川 平成30年7月6日出水 川島水位観測所一大隈雨量観測所



※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

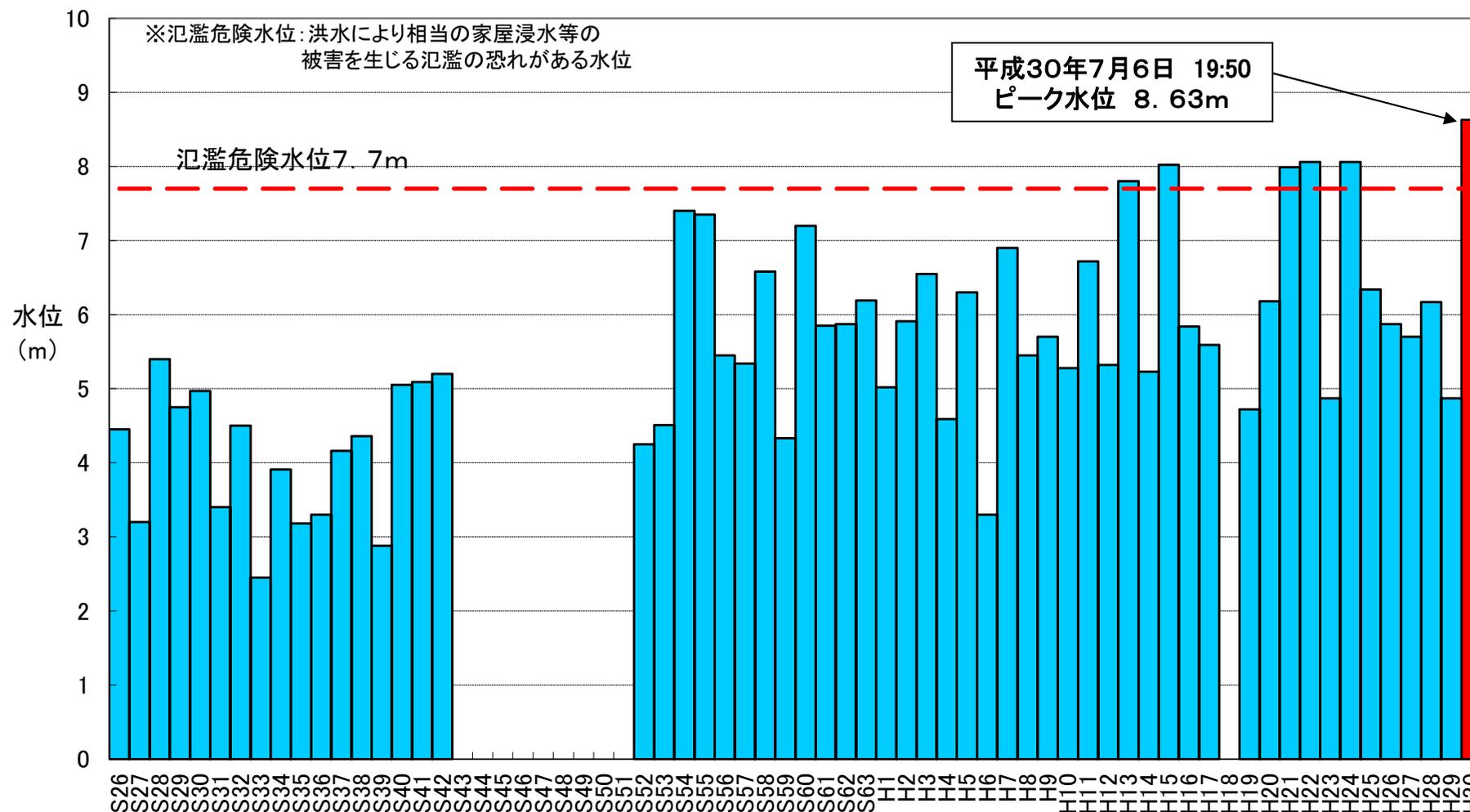
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 4. 水位の概要②-1 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川の日の出橋(ひのでばし)水位観測所において、7月6日19時50分に観測史上第1位の水位となる8.63mを記録しました。

遠賀川(日の出橋水位観測所)における年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

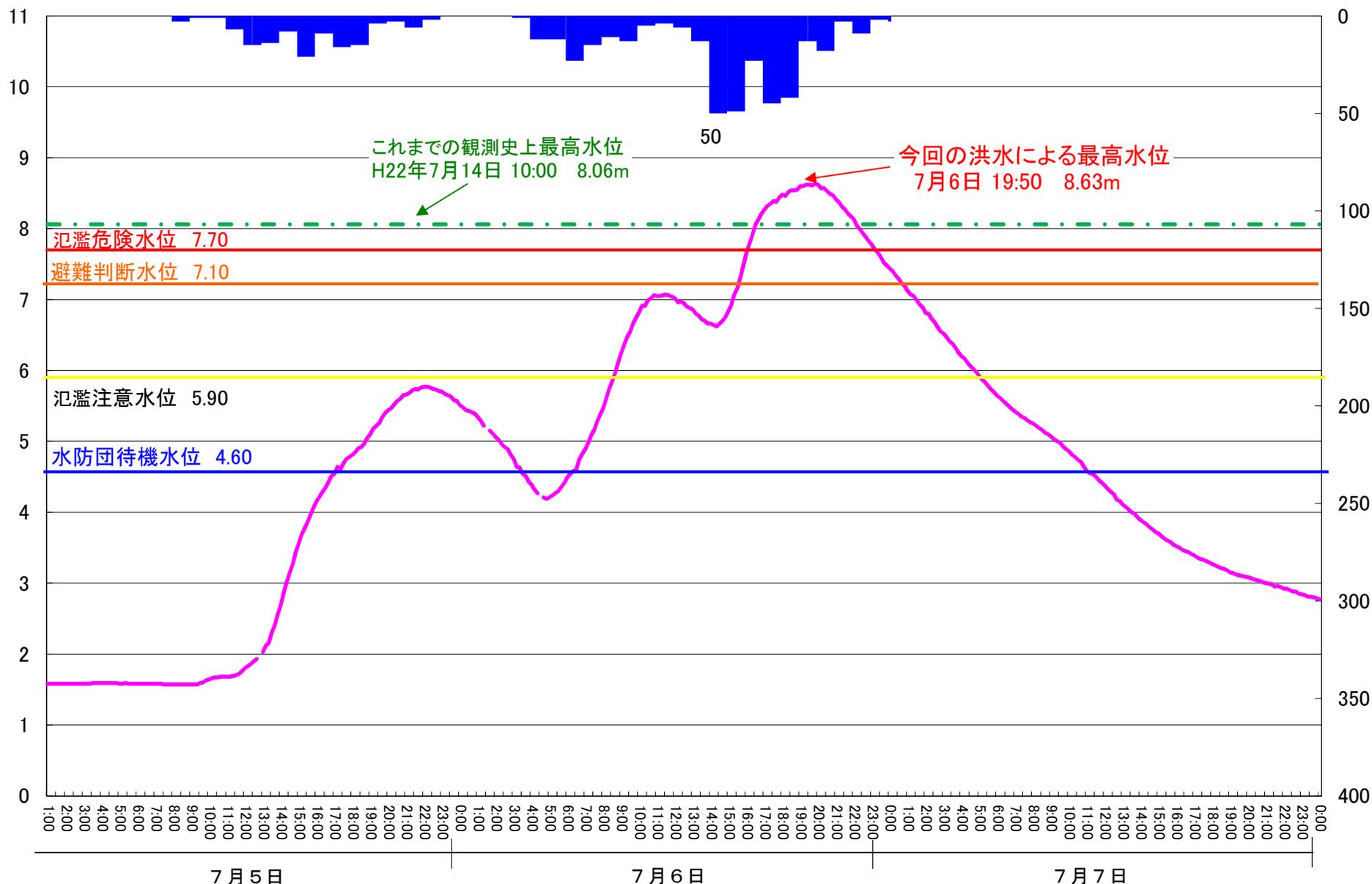


※日の出橋水位観測所 所在地:遠賀川 18.7km地点(福岡県直方市津田町) 零点高:T.P.2.00m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要②-2 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川 平成30年7月6日出水 日の出橋水位観測所—大隈雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

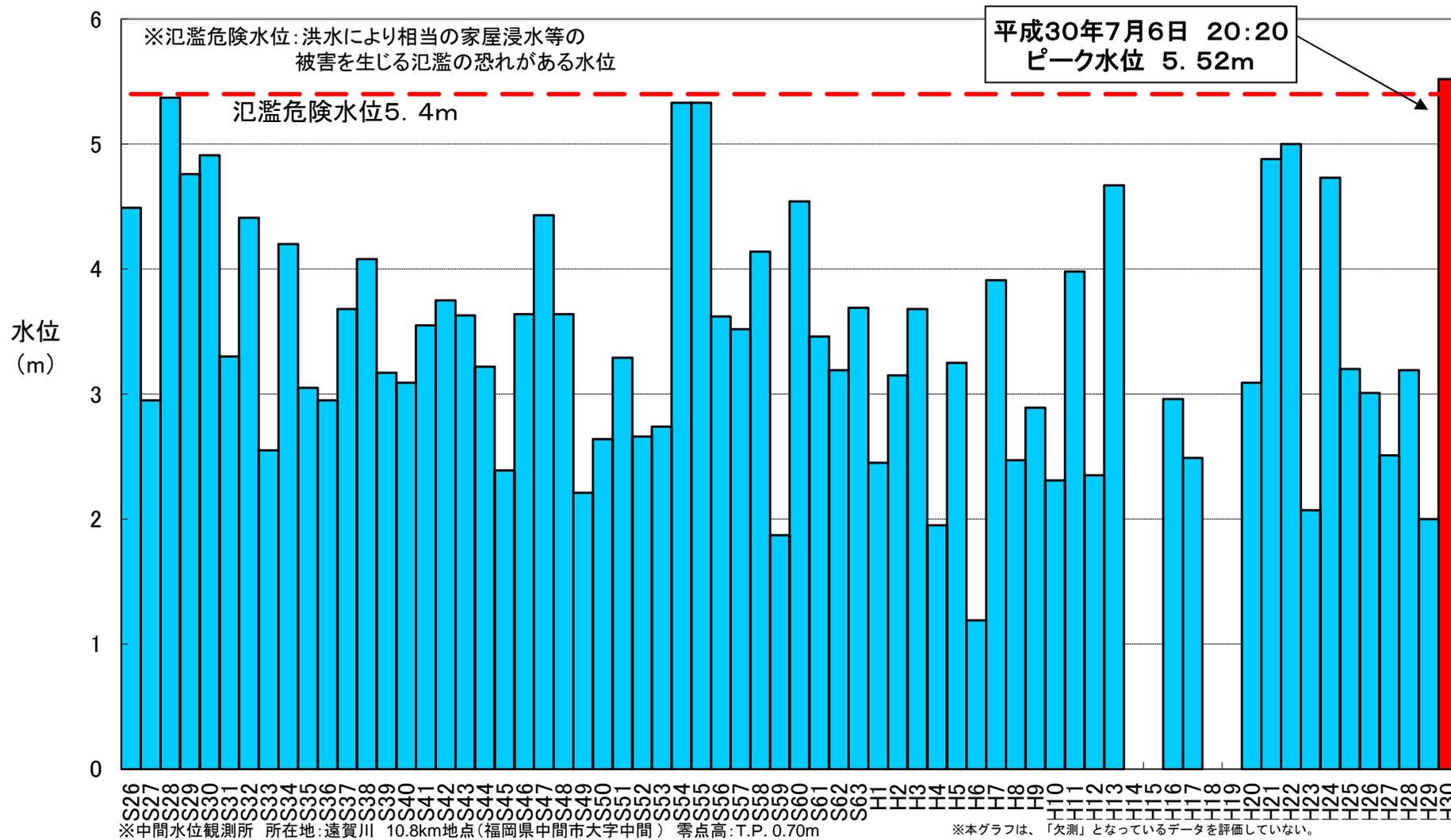
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要③-1 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川の中間(なかま)水位観測所において、7月6日20時20分に観測史上第1位の水位となる5.52mを記録しました。

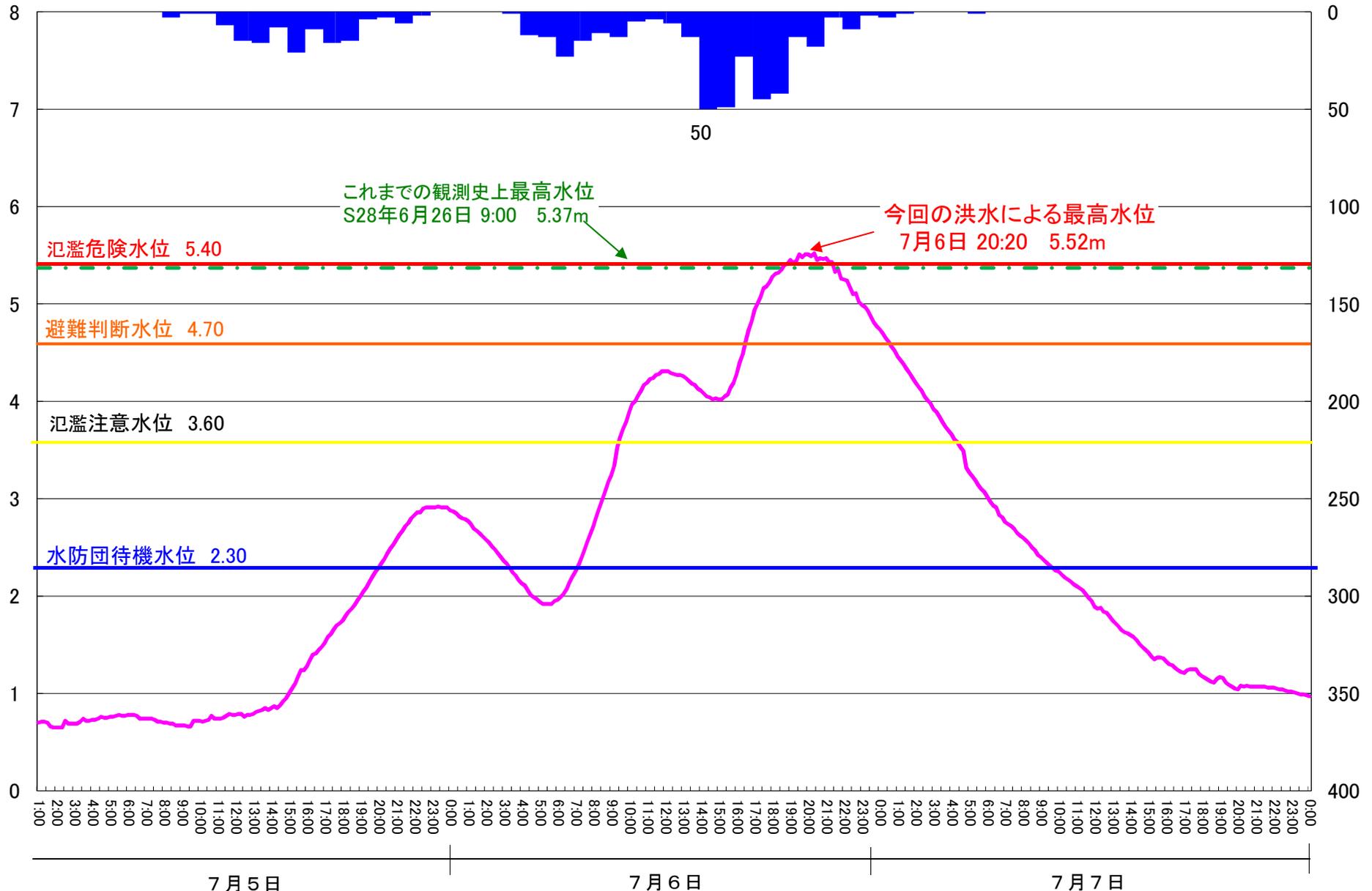
遠賀川(中間水位観測所)における年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



# 4. 水位の概要③-2 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川 平成30年7月6日出水 中間水位観測所一大隈雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

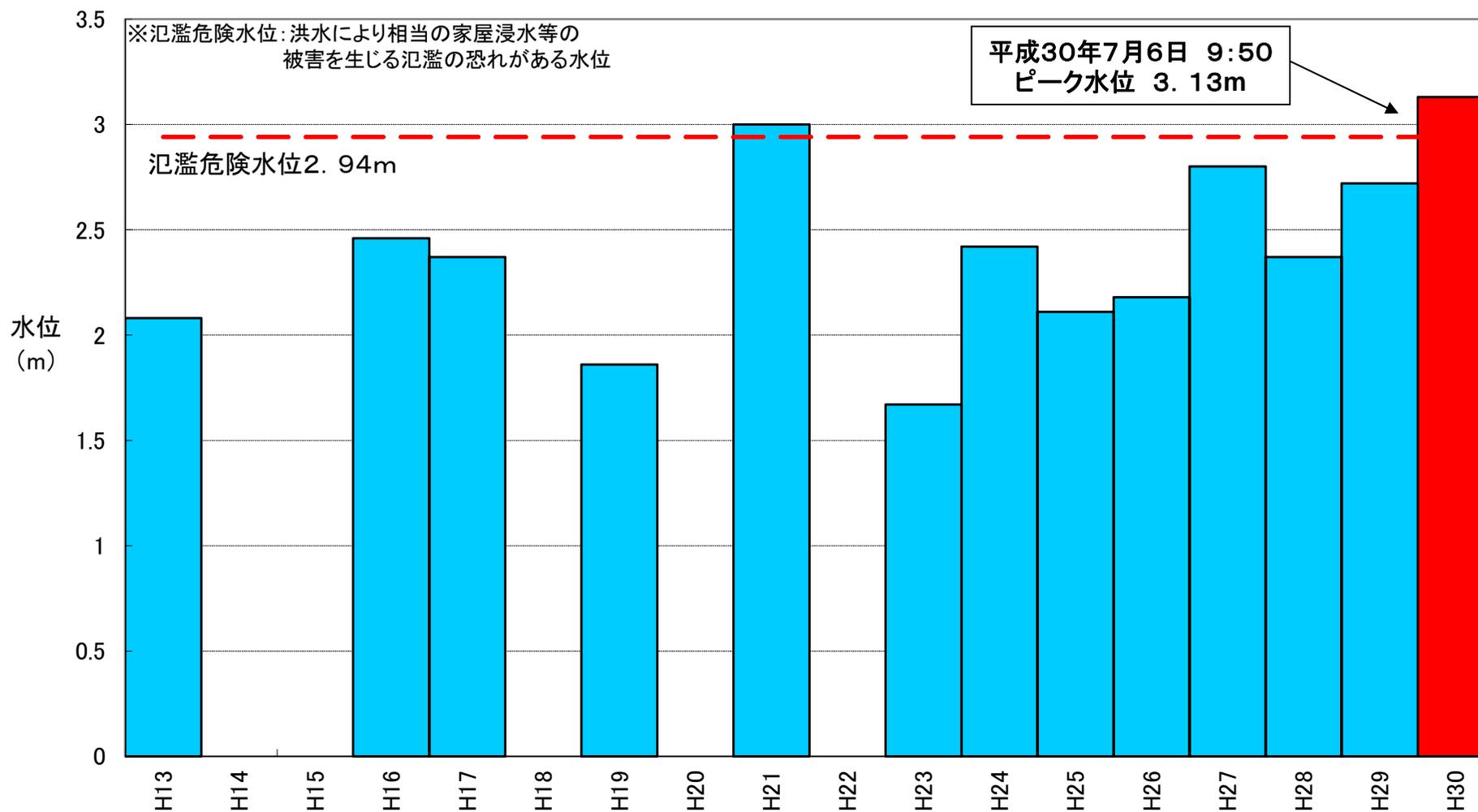
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

## 4. 水位の概要④-1 (遠賀川水系笹尾川)

遠賀川水系笹尾川の野面(のぶ)水位観測所において、7月6日9時50分に観測史上第1位の水位となる3.13mを記録しました。

笹尾川(野面水位観測所)における年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

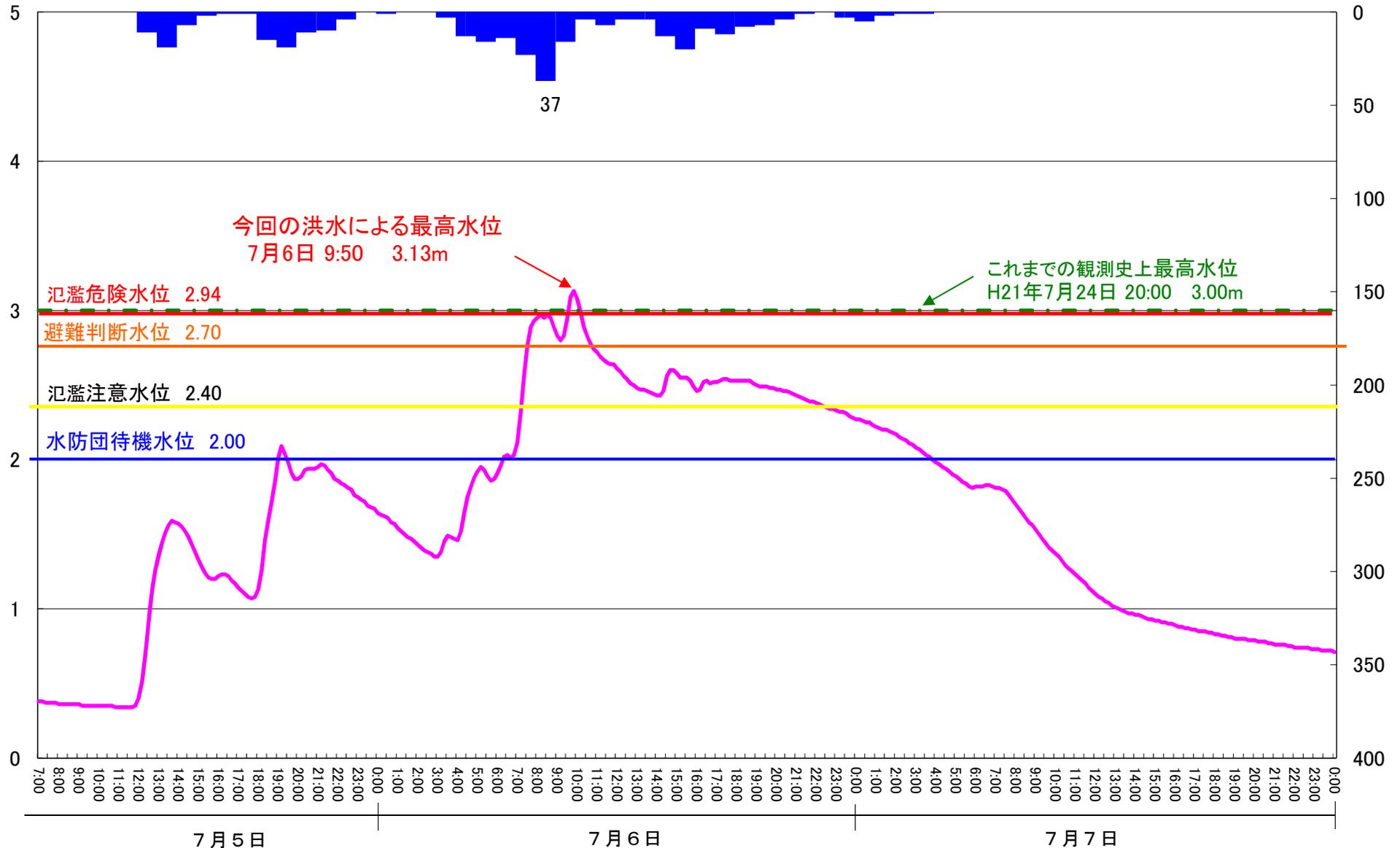


※野面水位観測所 所在地: 笹尾川 4.7km地点(福岡県北九州市八幡西区大字野面) 零点高: T.P. 3.0m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要④-2 (遠賀川水系笹尾川)

遠賀川水系川笹尾川 平成30年7月6日出水 野面水位観測所一直方雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

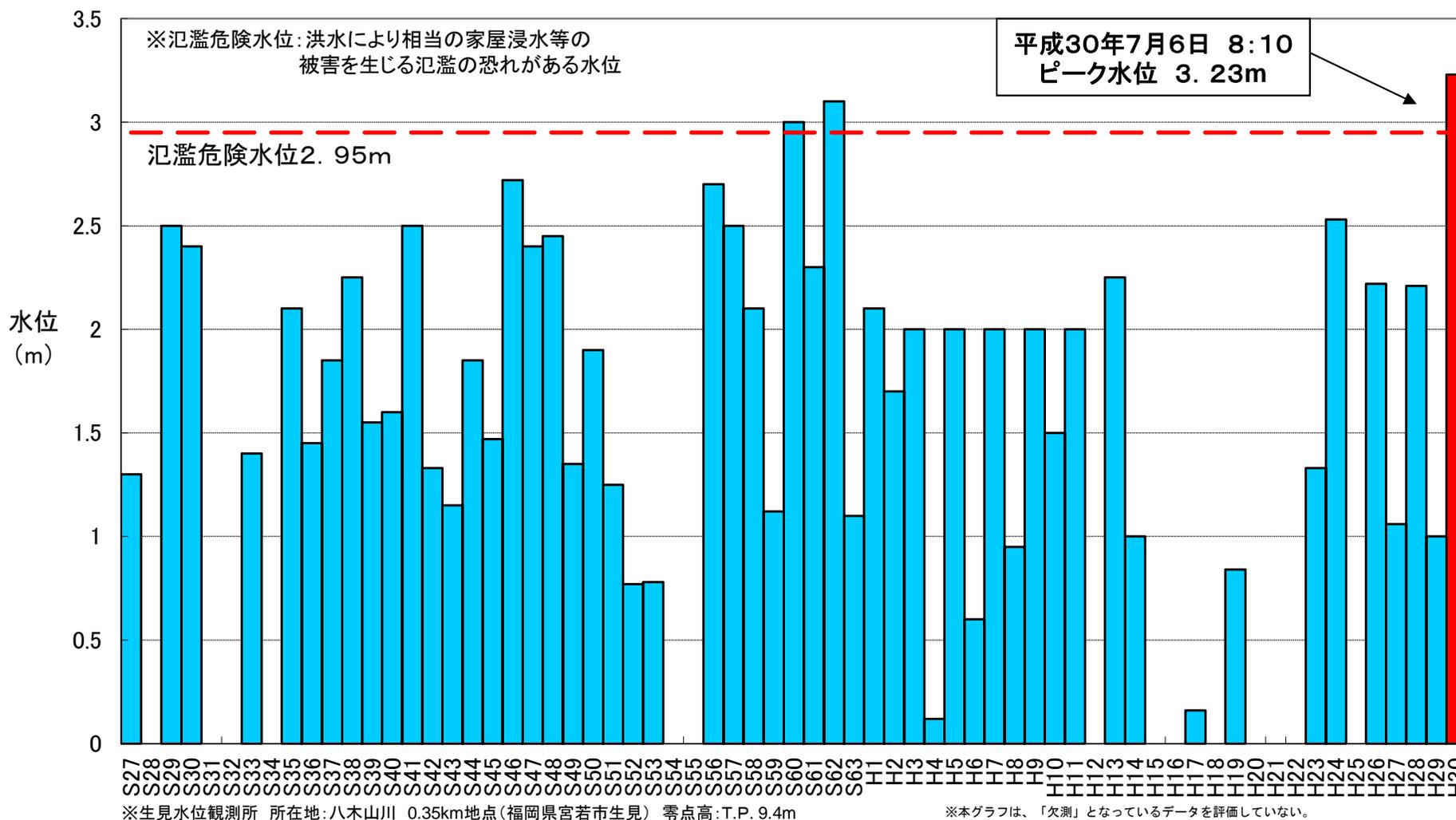
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要⑤-1 (遠賀川水系八木山川)

遠賀川水系八木山川の生見(ぬくみ)水位観測所において、7月6日8時10分に観測史上第1位の水位となる3.23mを記録しました。

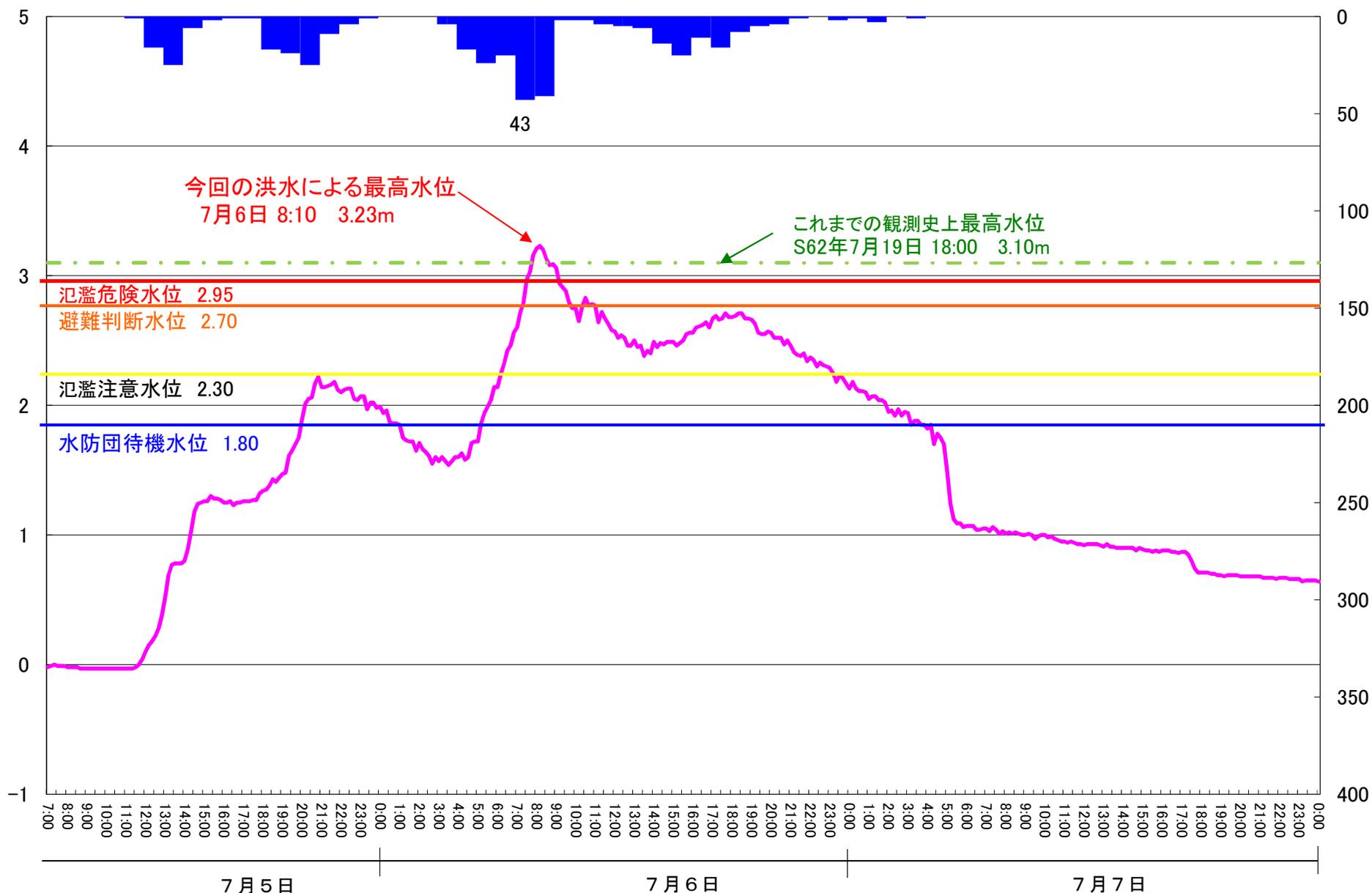
八木山川(生見水位観測所)における年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



# 4. 水位の概要⑤-2遠賀川水系八木山川)

遠賀川水系八木山川 平成30年7月6日出水 生見水位観測所-宮田雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

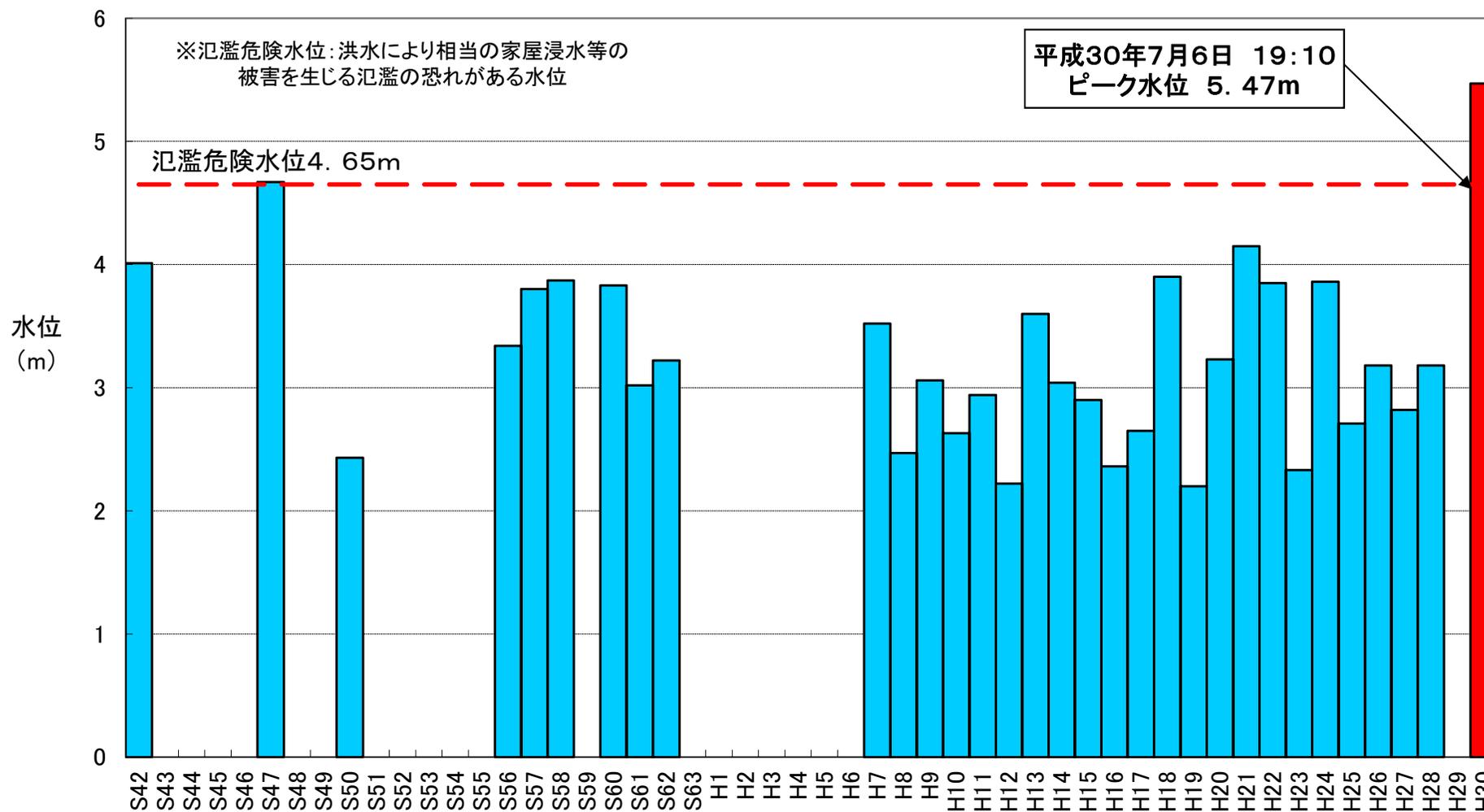
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

## 4. 水位の概要⑥-1 (筑後川水系宝満川)

筑後川水系宝満川の端間 (はたま) 水位観測所において、7月6日 19時10分に観測史上第1位の水位となる5.47mを記録しました。

宝満川(端間水位観測所)における年最高水位比較図

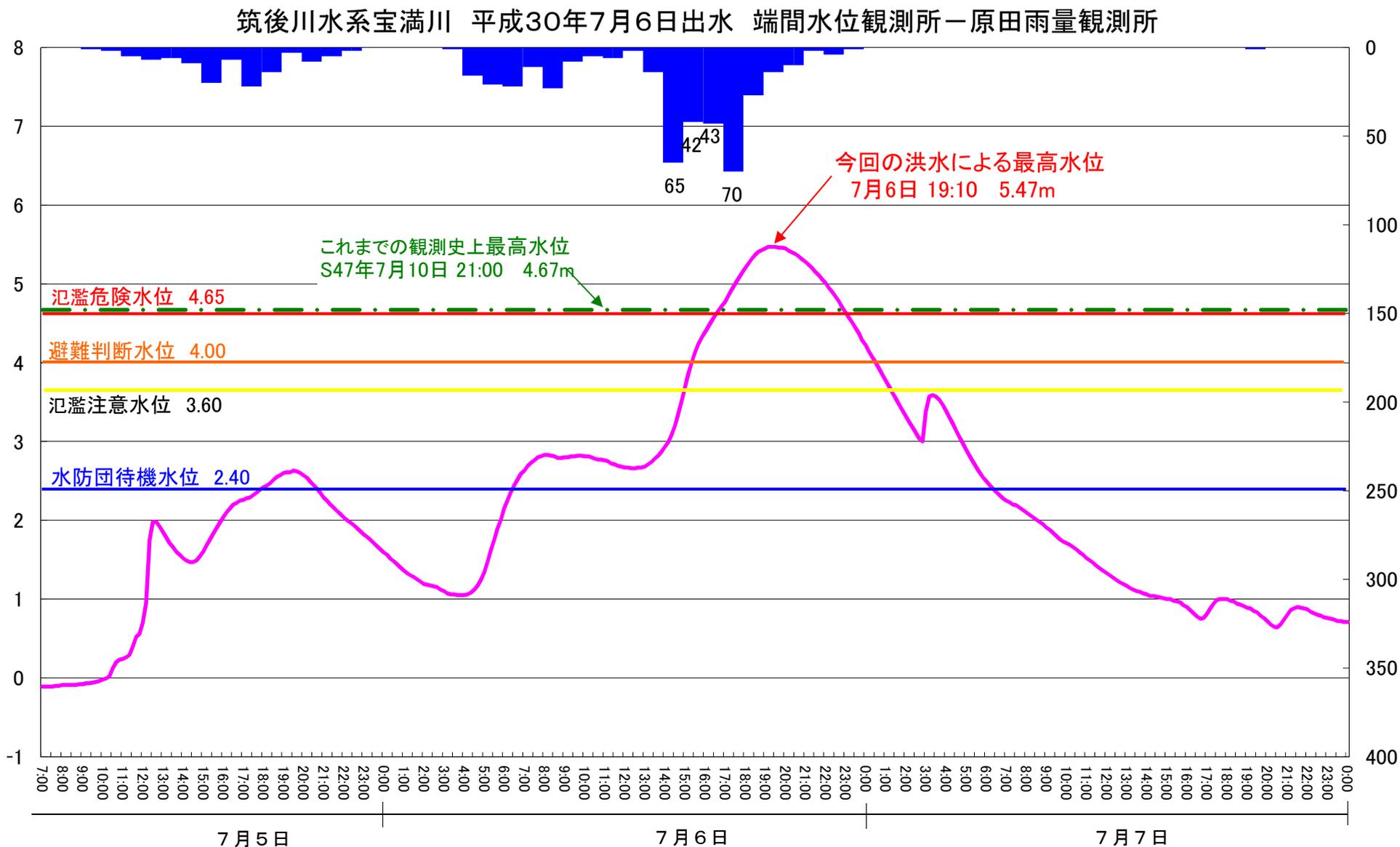
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※端間水位観測所 所在地: 宝満川 7.93km地点(福岡県小郡市福童) 零点高:T.P. 6.8m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要⑥-2 (筑後川水系宝満川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

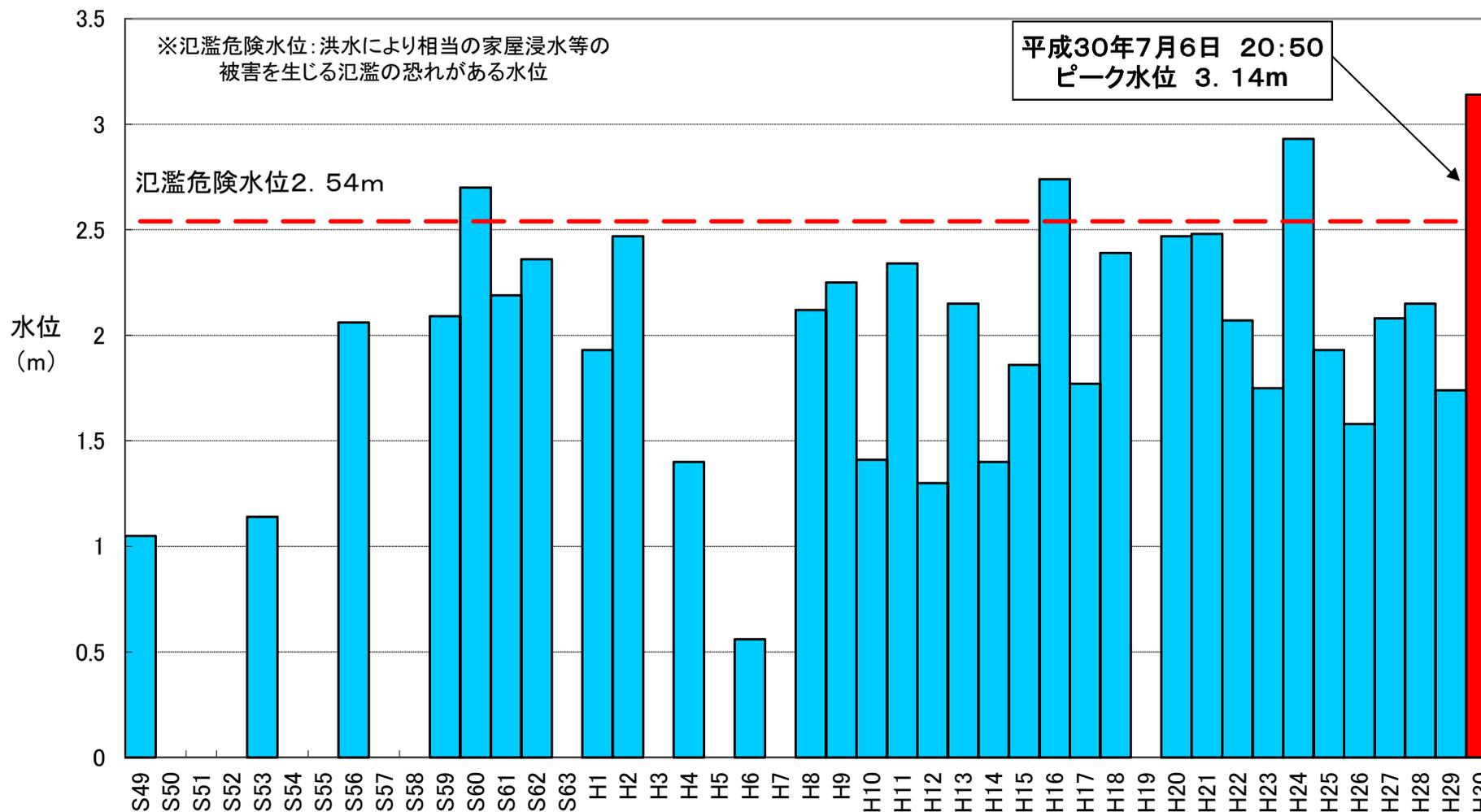
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

## 4. 水位の概要⑦-1 (筑後川水系巨瀬川)

筑後川水系巨瀬川の中央橋 (ちゅうおうばし) 水位観測所において、7月6日 20時50分に観測史上第1位の水位となる3.14mを記録しました。

巨瀬川(中央橋水位観測所)における年最高水位比較図

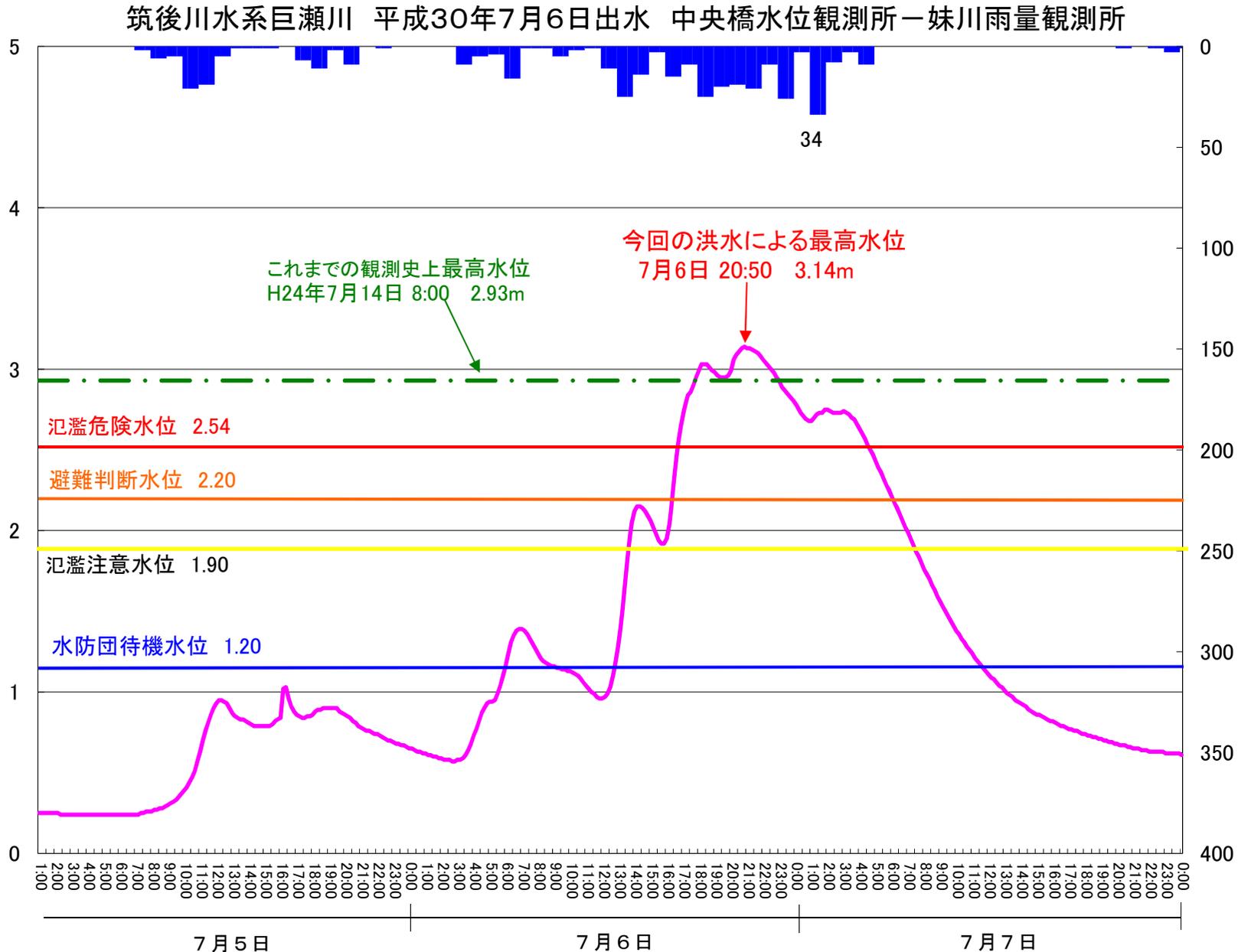
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※中央橋水位観測所 所在地:巨瀬川 9.98km地点(福岡県久留米市田主丸町田主丸) 零点高:T.P. 15.2m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要⑦-2 (筑後川水系巨瀬川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

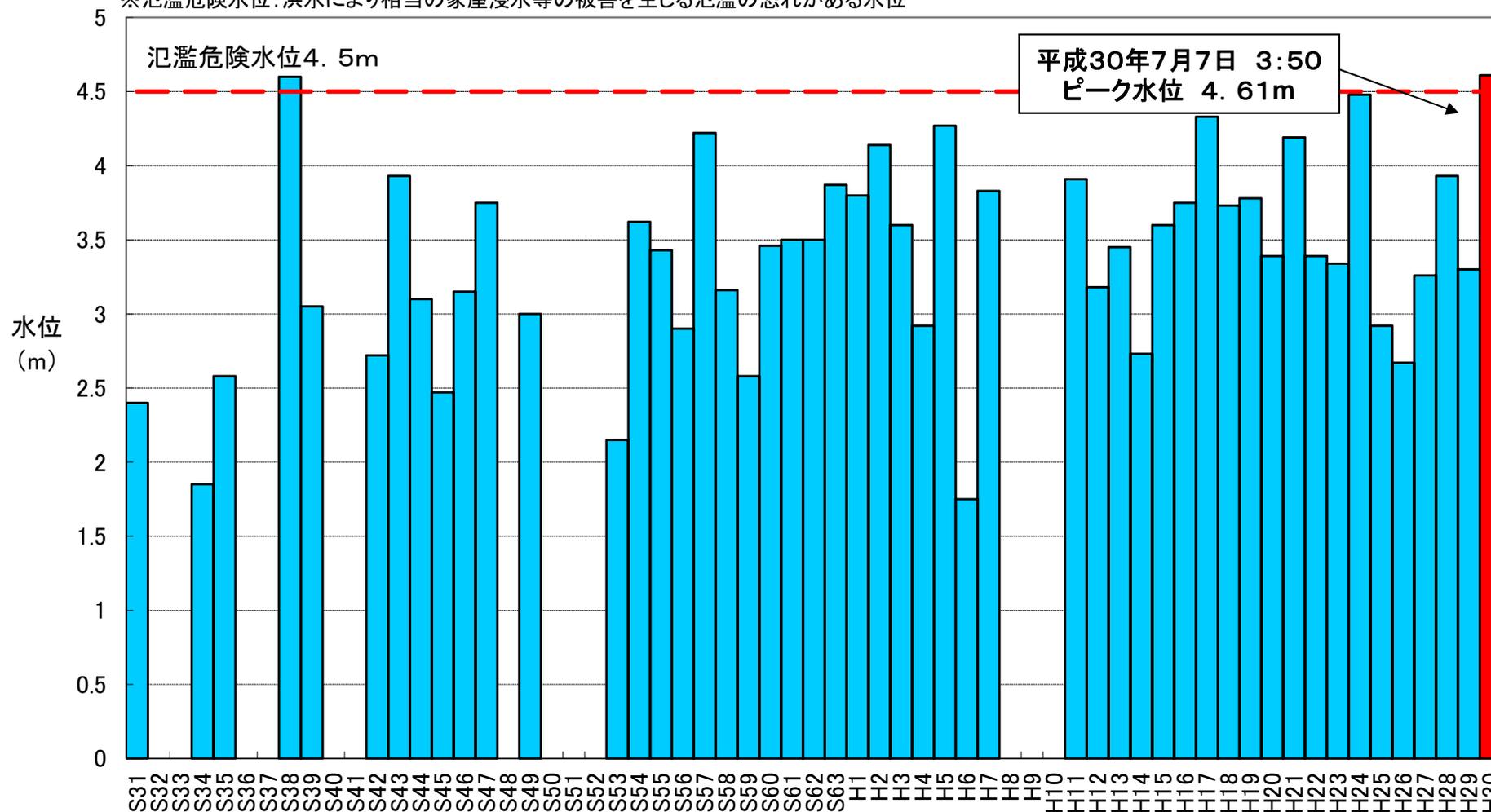
## 4. 水位の概要⑧-1 (筑後川水系筑後川)

筑後川水系筑後川の小渕 (こぶち) 水位観測所において、7月7日 3時50分に観測史上第1位の水位となる4.61mを記録しました。

### 筑後川(小渕水位観測所)における年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

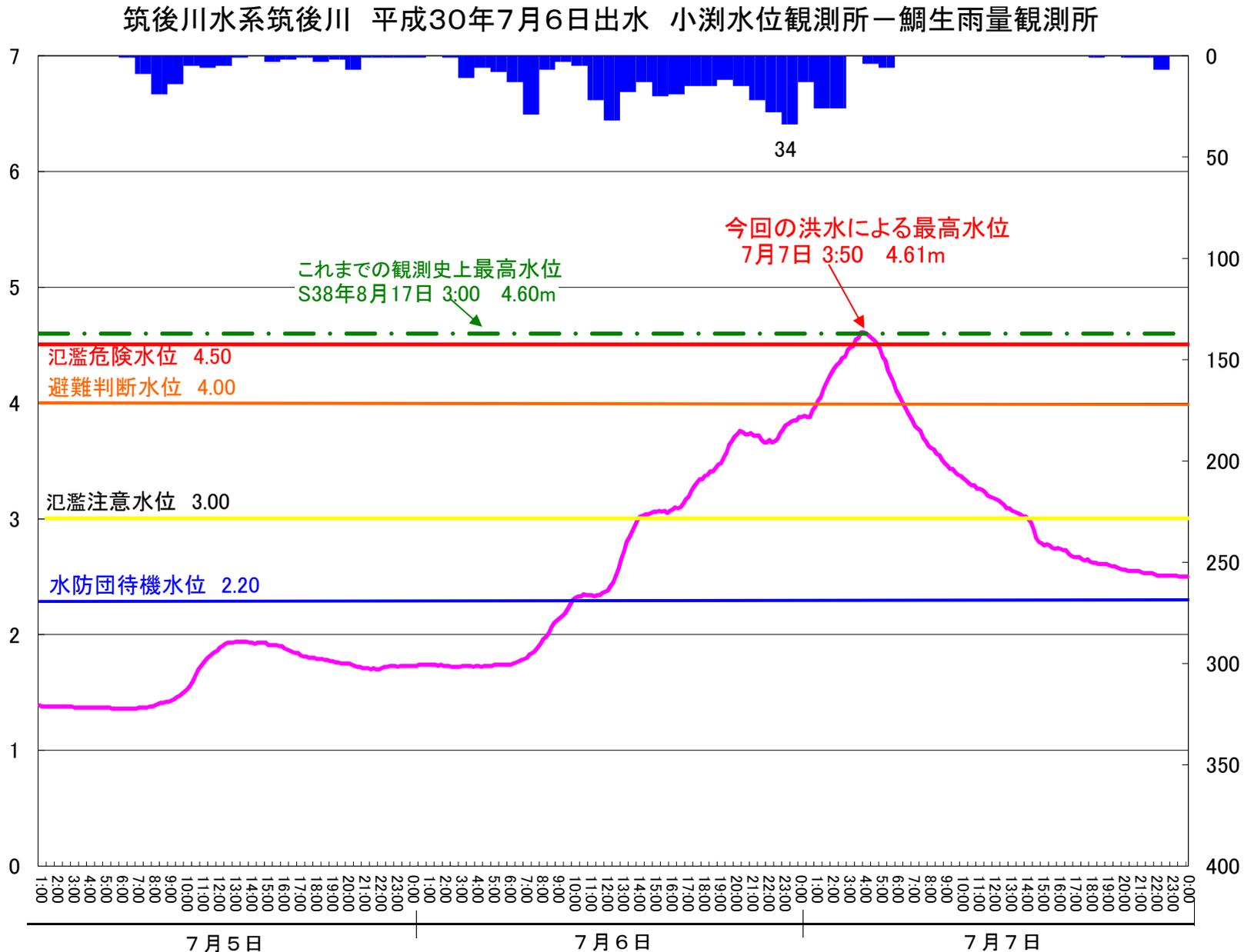
※氾濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫の恐れがある水位



※小渕水位観測所 所在地:筑後川 76.59km地点(大分県日田市若宮町) 零点高:T.P. 85.0m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要⑧-2 (筑後川水系筑後川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

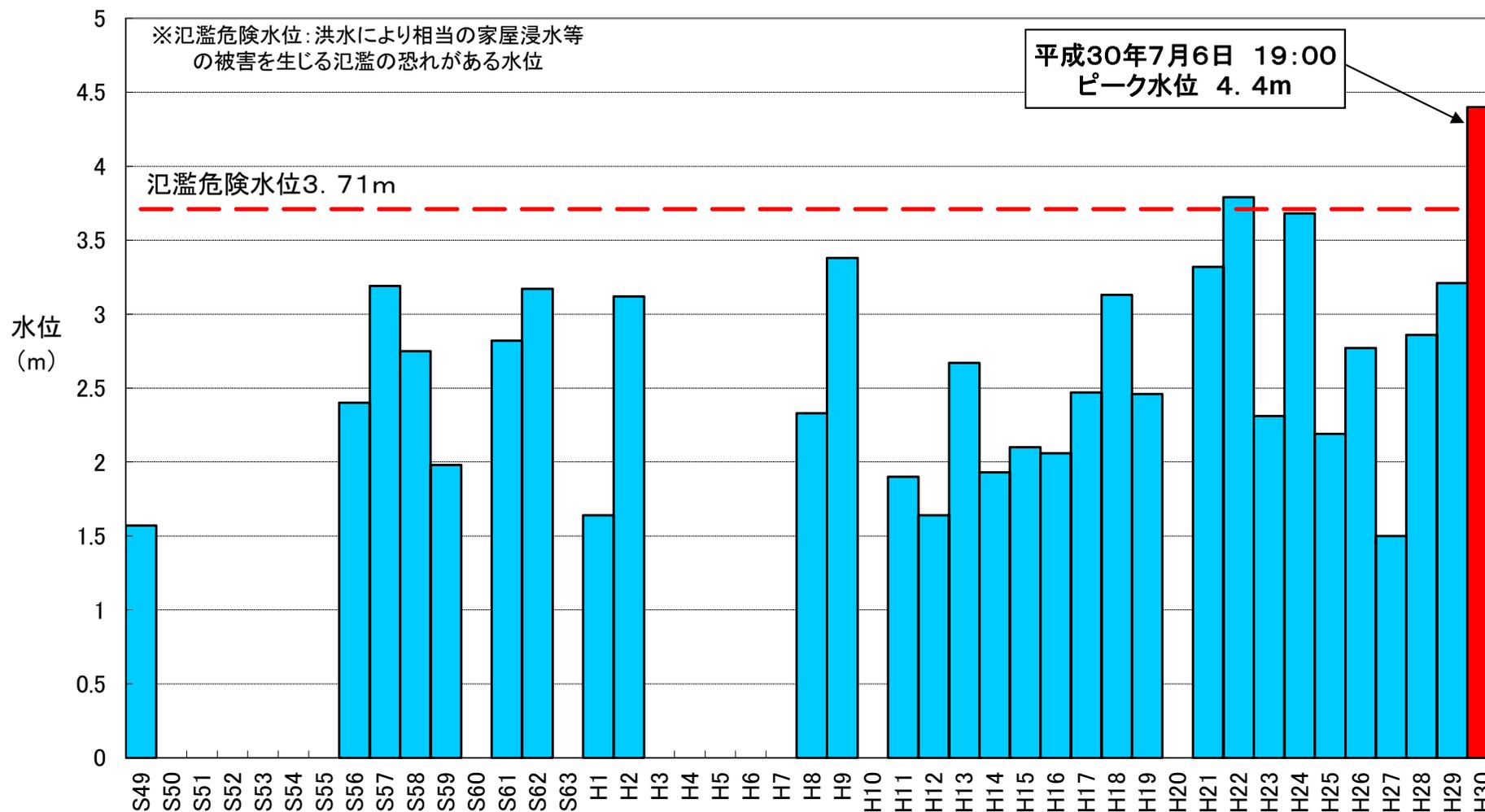
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

## 4. 水位の概要⑨-1 (筑後川水系小石原川)

筑後川水系小石原川の栄田橋 (さかえだばし) 水位観測所において、7月6日 19時00分に観測史上第1位の水位となる4.40mを記録しました。

小石原川(栄田橋水位観測所)における年最高水位比較図

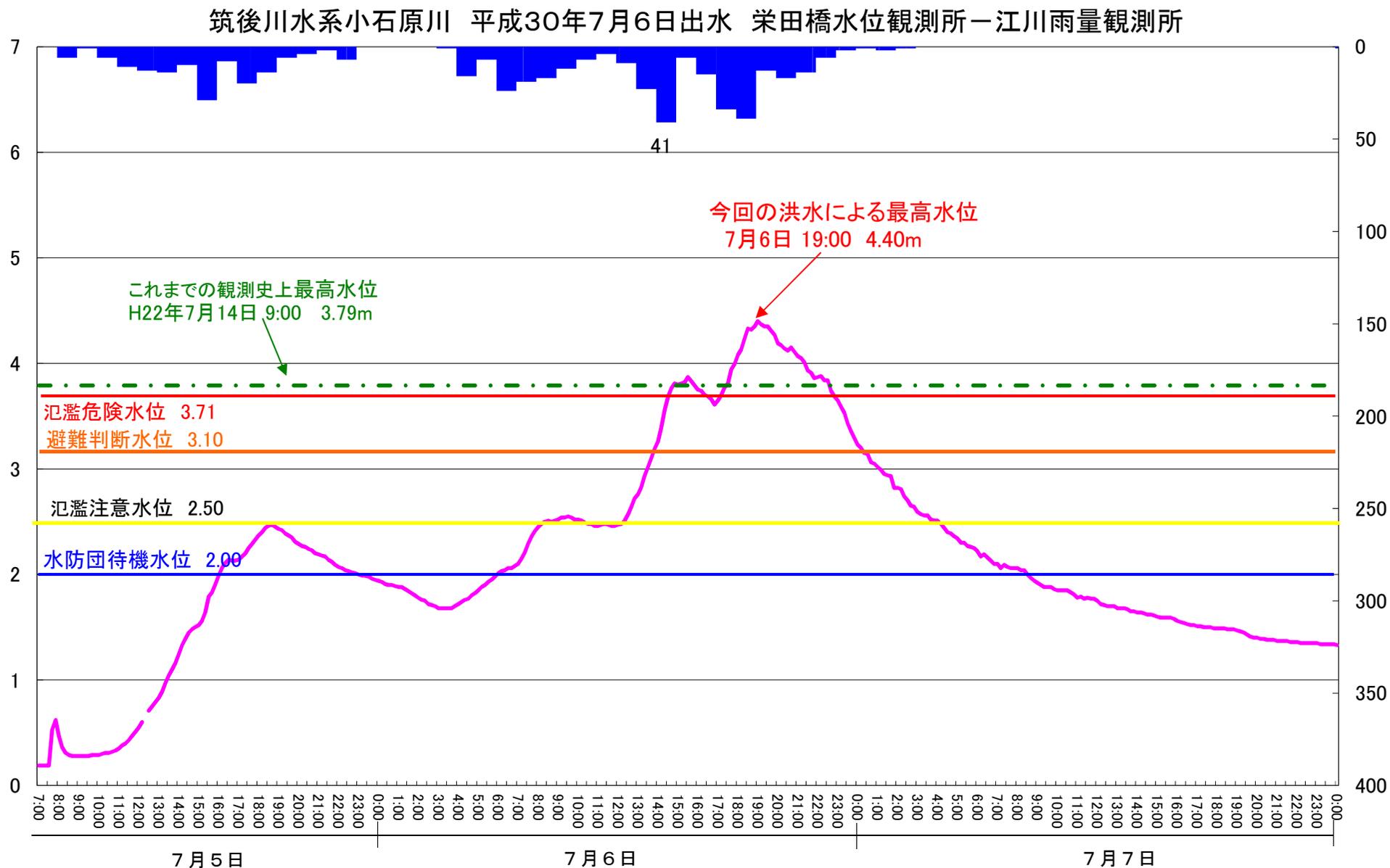
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※栄田橋水位観測所 所在地：小石原川 3.24km地点 (福岡県三井郡大刀洗町栄田) 零点高：T.P. 13.3m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 4. 水位の概要⑨-2 (筑後川水系小石原川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

# 5. 出水状況写真

【 遠賀川水系 】

【 筑後川水系 】



# 5. 出水状況写真

【 山国川水系 】

【 松浦川水系 】

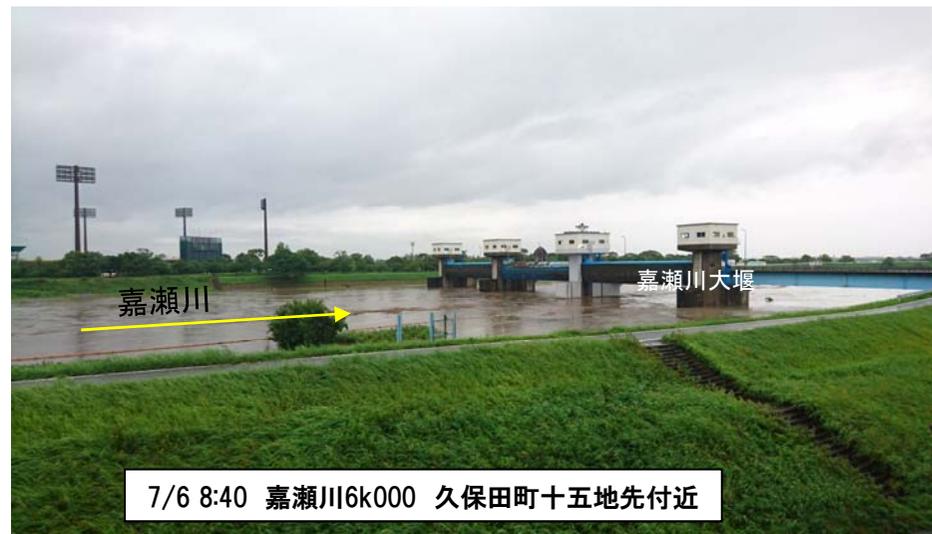


# 5. 出水状況写真

【 六角川水系 】



【 嘉瀬川水系 】



# 5. 出水状況写真

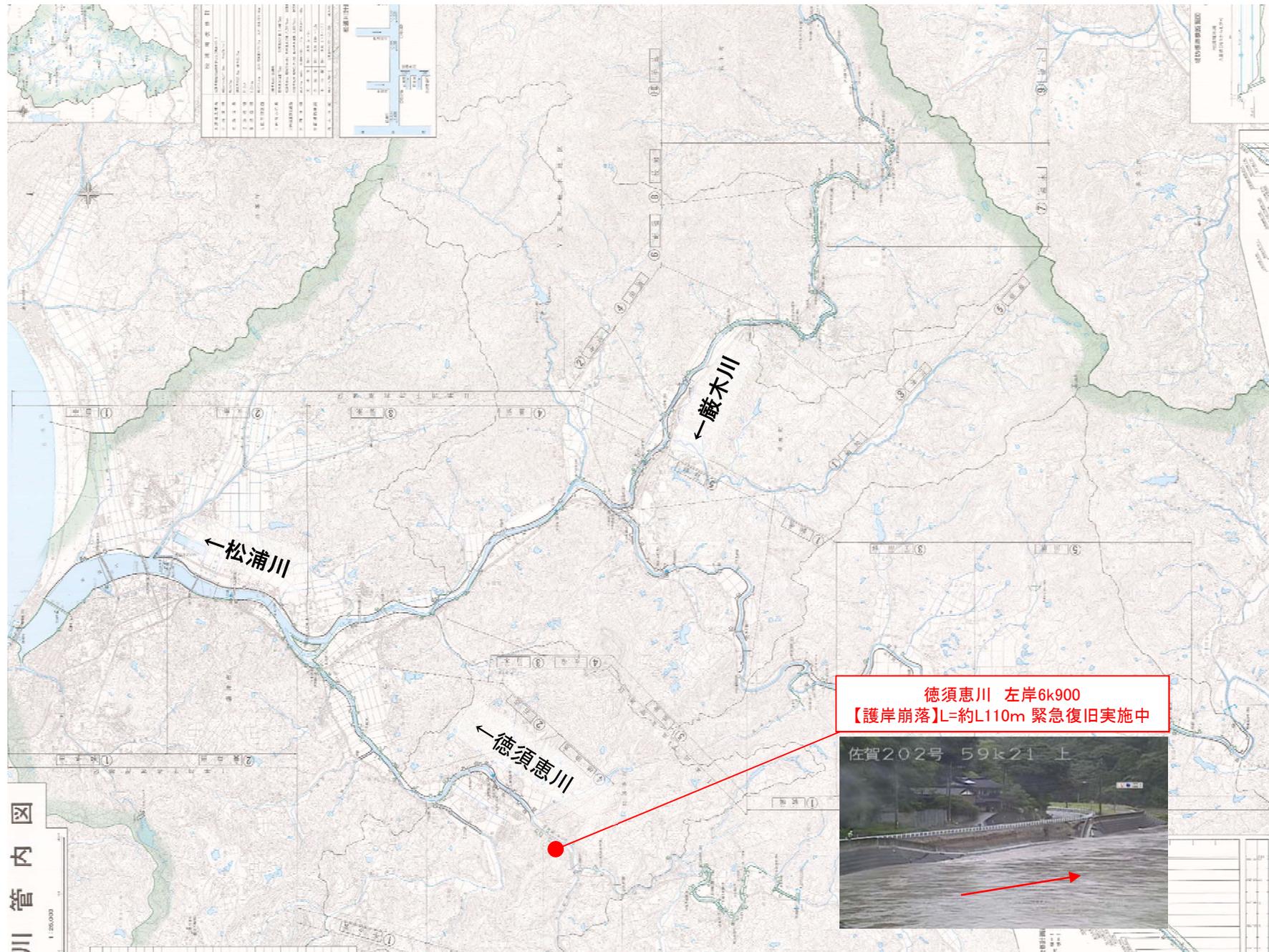
【 菊池川水系 】



【 球磨川水系 】



# 6. 松浦川水系 被害箇所位置図



川管内図

## 6. 緊急復旧工事の状況（松浦川水系徳須恵川6k830付近）

- 松浦川水系徳須恵川で、河岸決壊に伴う護岸の崩落が生じた区間において、7月6日より、緊急復旧工事に着手。

